

岩内町地域公共交通の検討調査業務

報 告 書

平成 2 7 年 3 月

岩内町地域公共交通活性化協議会

目 次

I	岩内町における公共交通の現状.....	1
I-1	岩内町の概要.....	1
I-2	地域公共交通現況.....	12
II	住民ニーズの把握.....	21
II-1	住民アンケート調査実施概要.....	21
II-2	住民アンケート調査結果.....	21
	【参考1】自由記入欄意見.....	38
	【参考2】アンケート調査票.....	42
III	交通事業者・関係団体等ヒアリング調査.....	47
III-1	交通事業者.....	47
III-2	関係団体等.....	49
IV	町内路線バスの乗降者数等調査.....	51
IV-1	乗降者数等調査.....	51
IV-2	バス利用者インタビュー調査.....	61
V	地域公共交通の活性化に向けた課題の整理.....	71
V-1	岩内町における公共交通の特性.....	71
V-2	地域公共交通の活性化に向けた課題の整理.....	73

Ⅰ 岩内町における公共交通の現状

I - 1 岩内町の概要

(1) 位置・市街地特性

① 位置

岩内町は、北海道の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、北は岩内湾を介して積丹半島を眺望し、西は日本海を臨んでいる。南は岩内岳やニセコ連峰の山並みが連なり、東は共和町と一体的な岩内平野を擁し、丘陵部は農業・観光ゾーンが形成されている。また、海岸沿いの国道229号等を軸として市街地が形成されている。

岩内町と寿都・江差方面や積丹半島経由で余市町と連絡する国道229号が整備されているほか、国道276号から国道5号経由で小樽・札幌方面、倶知安さらには道南方面へ連絡する広域交通ネットワークが形成されている。

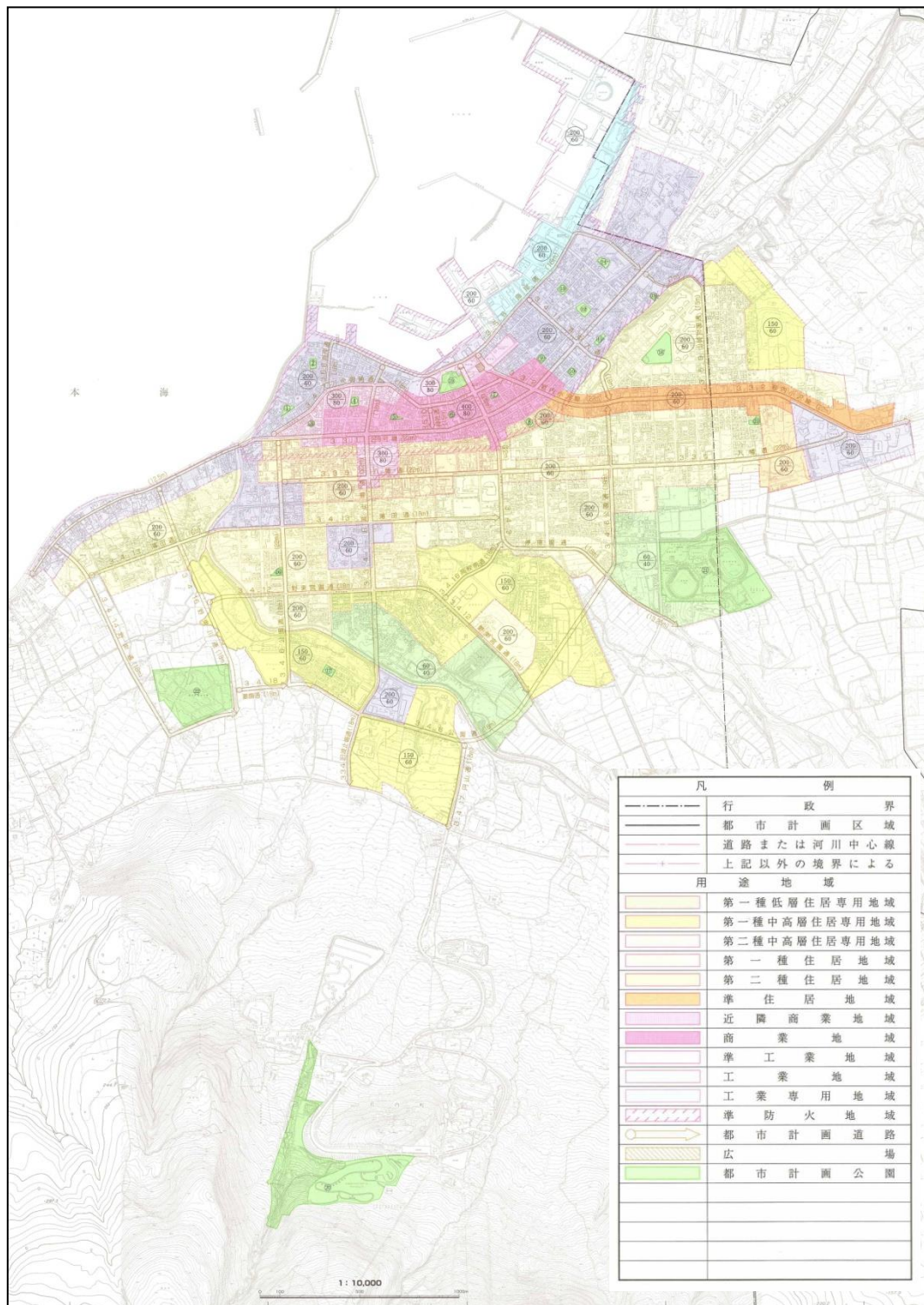
図 岩内町の位置



② 市街地特性

岩内町は、共和町と一体となった市街地が形成されており、居住地は都市計画用途地域内がほとんどである。用途地域以外では、国道229号沿道西部や円山地区（市街地から南側にある岩内岳ふもとの地区）に、一部居住地がみられるが、飛び市街地や遠隔地における人口集積地はなく、コンパクトな市街地が形成されている。

図 岩内町都市計画図



(2) 人口・世帯

① 総人口・総世帯数

岩内町の人口は、平成22年の国勢調査結果で14,451人となっている。

人口の推移をみると、昭和50年の25,823人をピークに以降、一貫して減少傾向にあり、平成2年の19,372人から平成22年までの20年間では約5千人減少し、平成2年の75%程度となっている。また住民基本台帳人口では、平成26年（9月末時点）には13,831人まで減少している。

岩内町の総世帯数は、平成22年の国勢調査結果で6,555世帯となっている。総人口と同様に総世帯数も減少傾向となっている。

表 総人口・総世帯数・一世帯当たり人員の推移

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
人 口	25,799	25,823	22,373	20,892	19,372	17,895	16,726	15,744	14,451
世 帯 数	6,737	7,220	7,254	7,230	7,201	7,069	6,969	6,853	6,555
一世帯当り 人	3.83	3.58	3.08	2.89	2.69	2.53	2.40	2.30	2.20

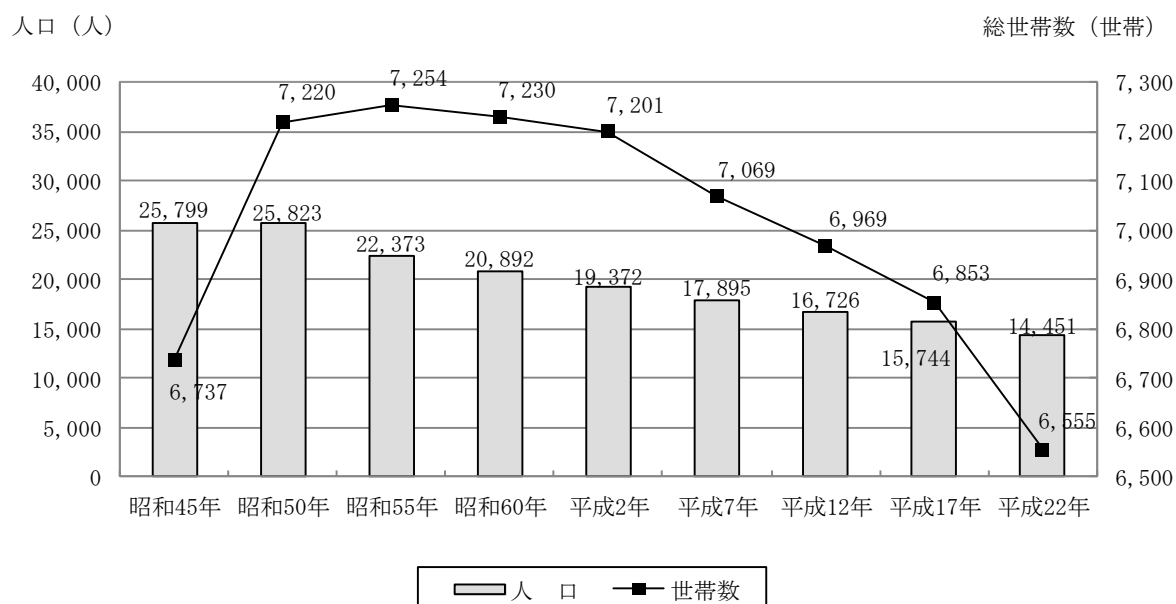
資料：国勢調査

表 平成22年以降の総人口の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
人 口	14,764	14,511	14,203	13,831

資料：住民基本台帳（各年9月末時点）

図 総人口と総世帯数の推移

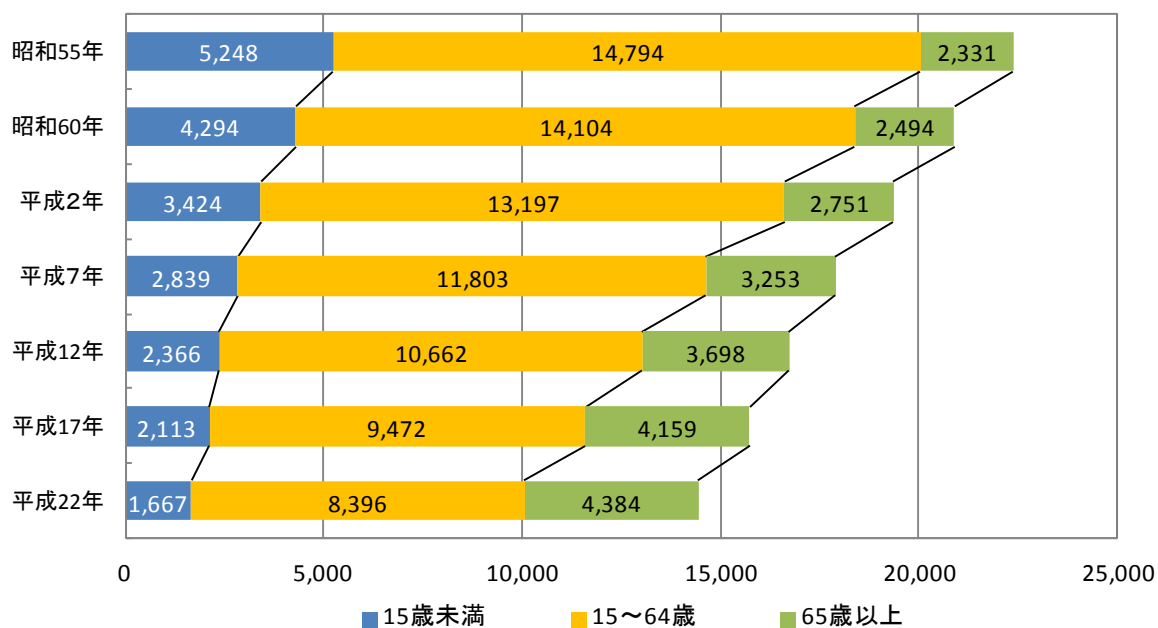


資料：国勢調査

② 年齢3区分別人口

岩内町の年齢3区分別人口の推移をみると、総人口が減少する中で65歳以上人口は増加している。構成比をみると平成22年において、65歳以上人口は30%を超え、全道と比べても高齢化が進行している状況にある。

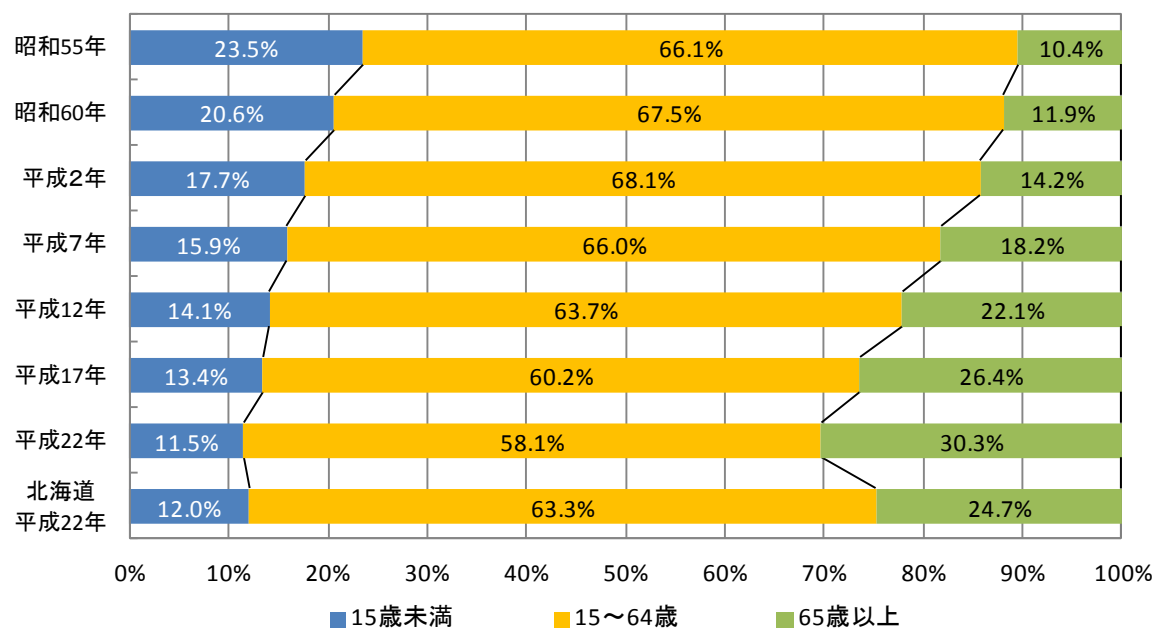
図 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

※平成22年については「年齢不詳」4人を除く

図 年齢3区分別人口構成比の推移



資料：国勢調査

※構成比は少数第2位を四捨五入しているため合計はかならずしも100%にならない。

③ 地区別人口・世帯数

近年10カ年の地区別人口の推移をみると、総人口と同様に各地区とも減少傾向にある。また、世帯数については、人口と同様に減少傾向の地区がほとんどであるが、東山や栄など若干増加している地区もみられる。

図 地区区分図

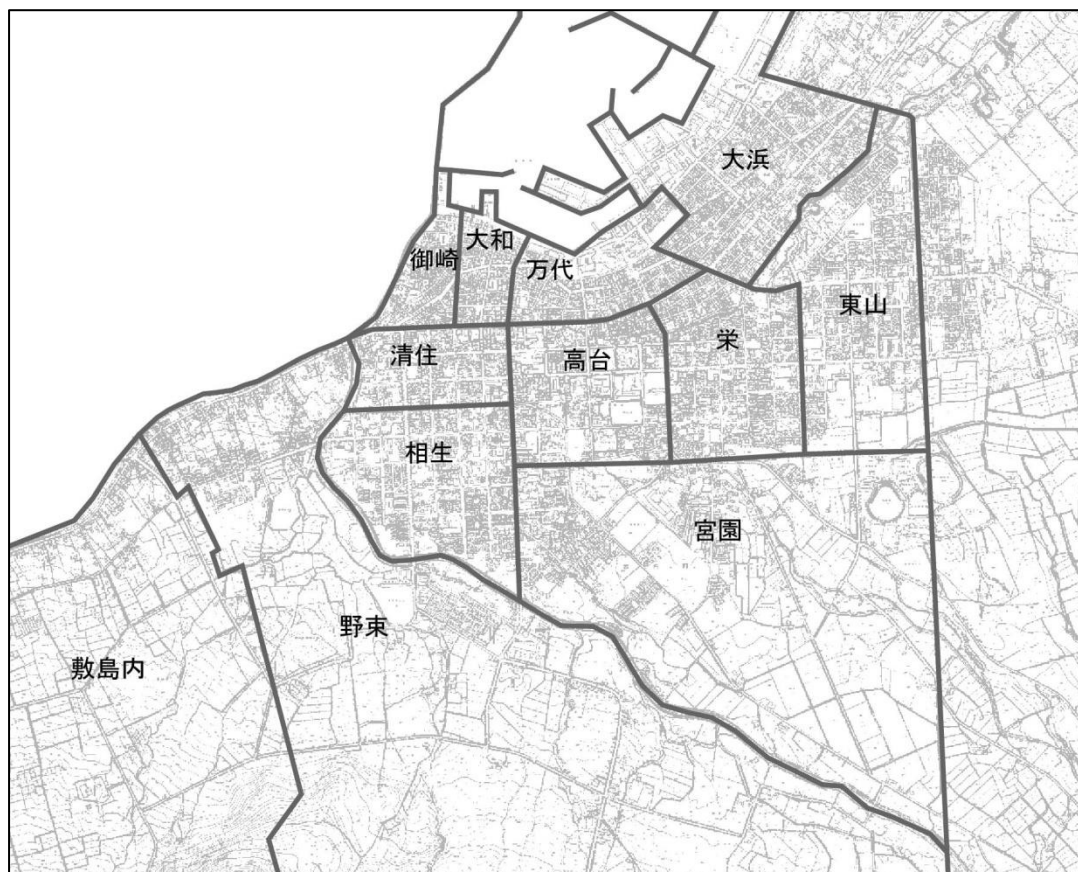
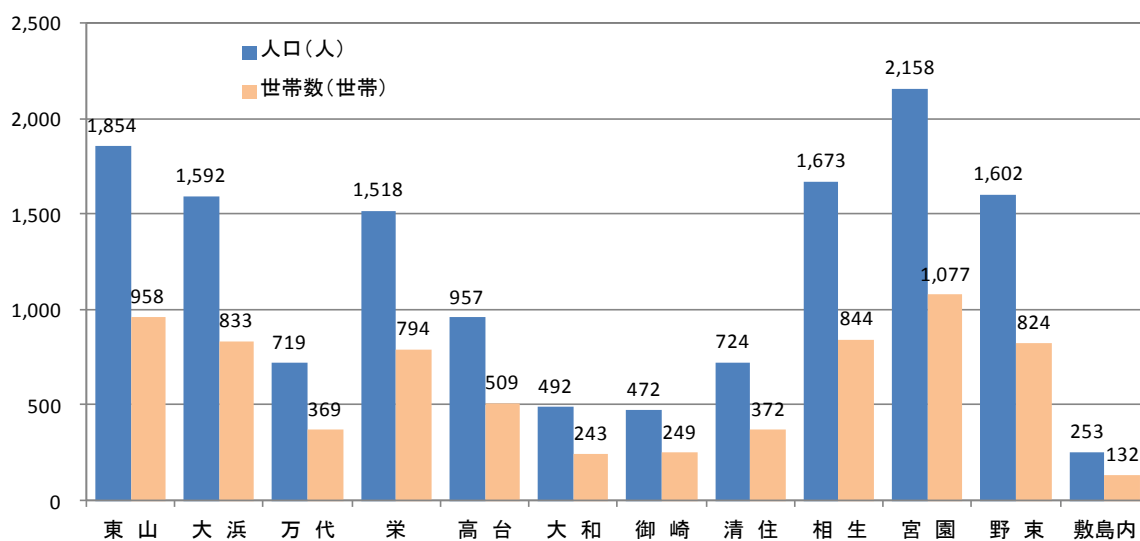


図 平成26年3月末日 地区別人口・世帯数



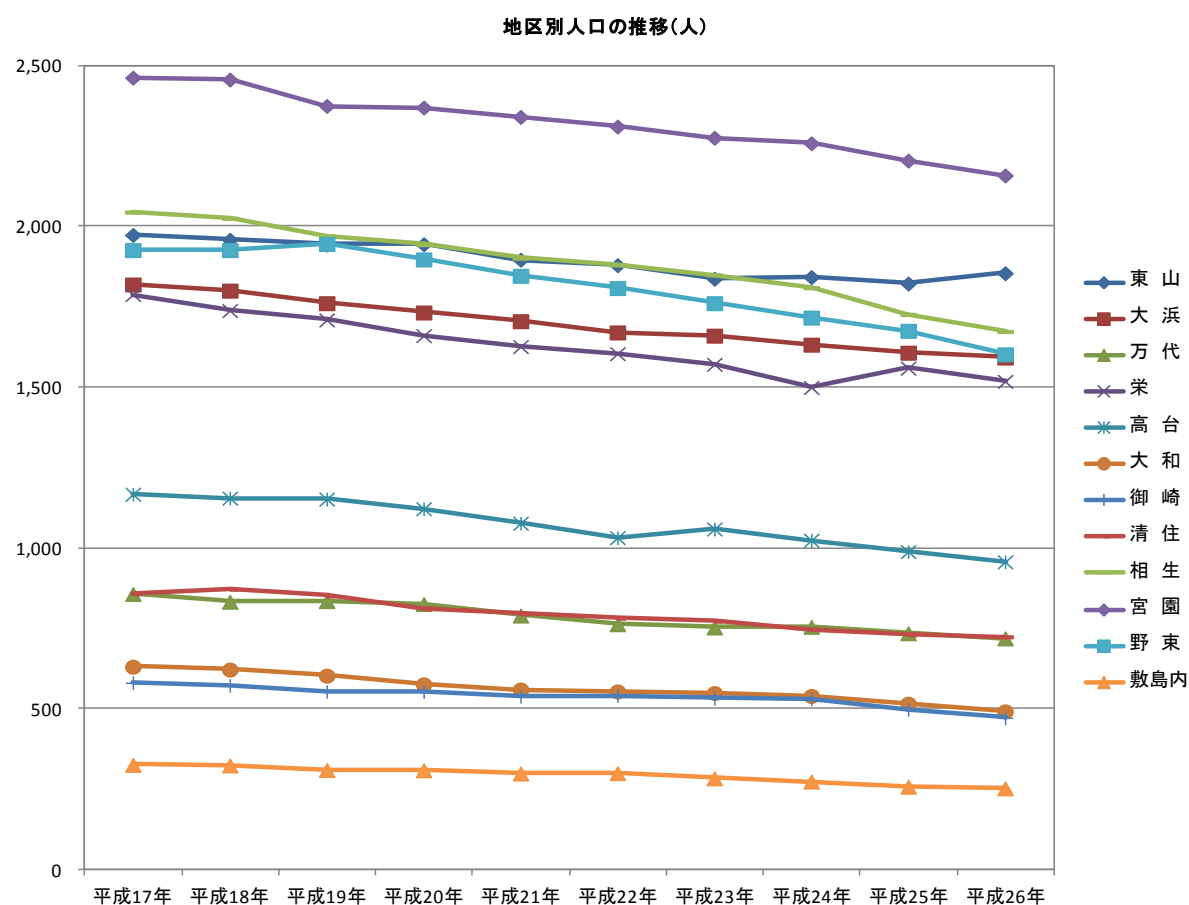
資料：住民基本台帳

表 地区別人口の推移

地区名	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
東 山	1,973	1,958	1,943	1,944	1,896	1,879	1,837	1,842	1,822	1,854
大 浜	1,819	1,800	1,761	1,732	1,705	1,670	1,660	1,632	1,607	1,592
万 代	857	833	835	826	790	763	753	755	735	719
栄	1,788	1,738	1,709	1,660	1,626	1,604	1,571	1,499	1,559	1,518
高 台	1,167	1,155	1,152	1,122	1,077	1,032	1,059	1,024	989	957
大 和	631	622	603	576	560	554	549	540	516	492
御 崎	581	573	554	554	539	541	533	531	498	472
清 住	858	872	851	811	795	782	773	747	730	724
相 生	2,044	2,025	1,971	1,943	1,901	1,880	1,849	1,809	1,726	1,673
宮 園	2,462	2,456	2,374	2,369	2,340	2,310	2,275	2,258	2,204	2,158
野 東	1,926	1,926	1,945	1,897	1,846	1,808	1,761	1,716	1,675	1,602
敷島内	326	324	310	309	299	300	284	274	258	253
合 計	16,432	16,282	16,008	15,743	15,374	15,123	14,904	14,627	14,319	14,014

資料：住民基本台帳（各年3月末日時点）

図 地区別人口の推移



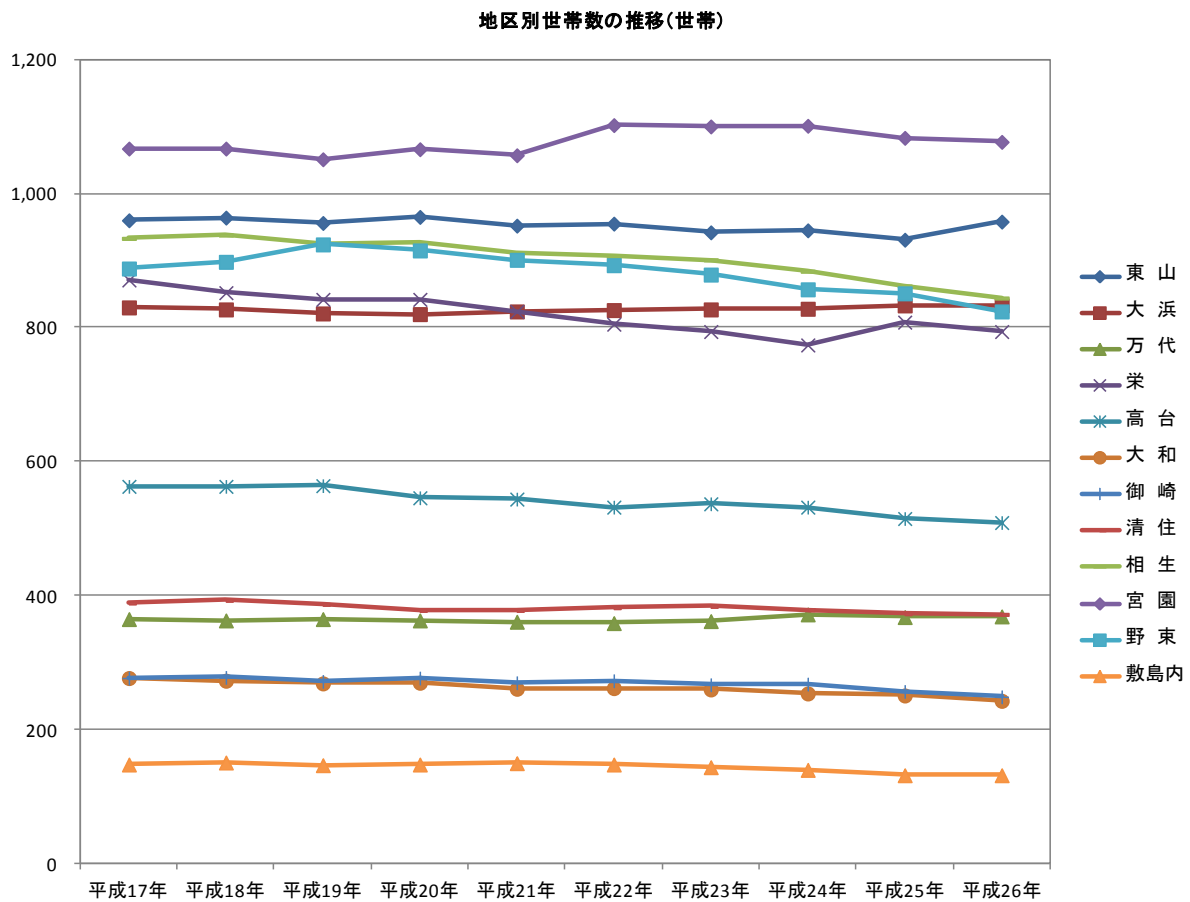
資料：住民基本台帳（各年3月末日時点）

表 地区別世帯数の推移

地区名	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
東 山	960	964	956	965	952	955	942	945	931	958
大 浜	830	827	821	820	824	826	827	828	833	833
万 代	365	363	365	363	361	359	362	372	368	369
栄	871	852	842	842	824	805	794	774	808	794
高 台	563	563	564	546	544	532	537	532	515	509
大 和	277	273	269	270	261	262	260	254	251	243
御 崎	277	278	272	277	270	273	267	268	257	249
清 住	389	393	387	378	378	382	384	379	373	372
相 生	933	938	924	926	911	906	901	884	862	844
宮 園	1,067	1,067	1,051	1,066	1,057	1,102	1,100	1,101	1,083	1,077
野 東	888	898	924	915	901	893	879	857	851	824
敷島内	148	151	147	148	150	148	144	140	132	132
合 計	7,568	7,567	7,522	7,516	7,433	7,443	7,397	7,334	7,264	7,204

資料：住民基本台帳（各年3月末日時点）

図 地区別世帯数の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末日時点）

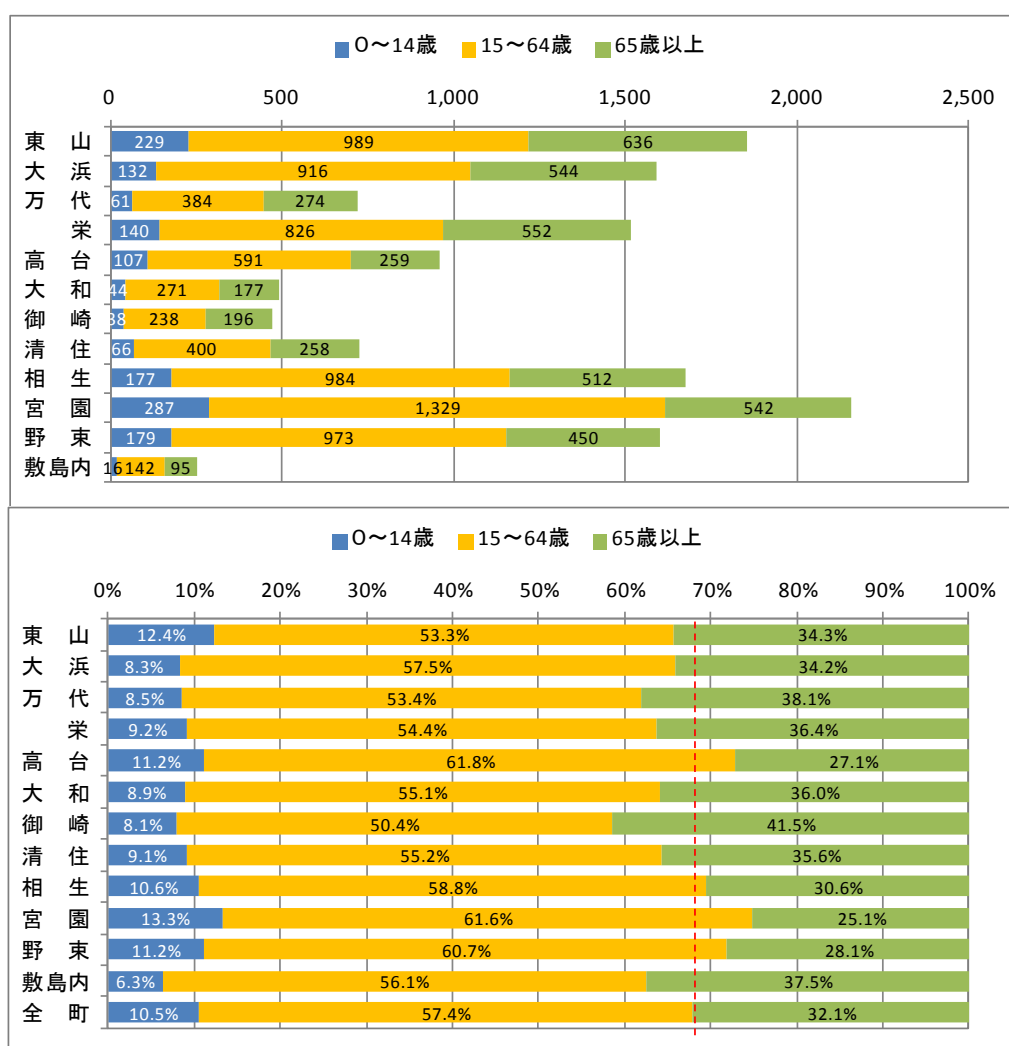
地区別の65歳以上人口構成比についてみると、高台・相生・宮園・野束においては全町平均より低く、その他の地区は全町平均よりも高い値となっている。

表 地区別・年齢3区分別人口及び構成比

地区名	年齢3区分別人口				構成比		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合 計	0～14歳	15～64歳	65歳以上
東 山	229	989	636	1,854	12.4%	53.3%	34.3%
大 浜	132	916	544	1,592	8.3%	57.5%	34.2%
万 代	61	384	274	719	8.5%	53.4%	38.1%
栄	140	826	552	1,518	9.2%	54.4%	36.4%
高 台	107	591	259	957	11.2%	61.8%	27.1%
大 和	44	271	177	492	8.9%	55.1%	36.0%
御 崎	38	238	196	472	8.1%	50.4%	41.5%
清 住	66	400	258	724	9.1%	55.2%	35.6%
相 生	177	984	512	1,673	10.6%	58.8%	30.6%
宮 園	287	1,329	542	2,158	13.3%	61.6%	25.1%
野 束	179	973	450	1,602	11.2%	60.7%	28.1%
敷島内	16	142	95	253	6.3%	56.1%	37.5%
全 町	1,476	8,043	4,495	14,014	10.5%	57.4%	32.1%

資料：住民基本台帳（平成26年3月末日）

図 地区別・年齢3区分別人口及び構成比



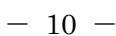
資料：住民基本台帳（平成26年3月末日）

※構成比は少数第2位を四捨五入しているため合計はかならずしも100%にならない。

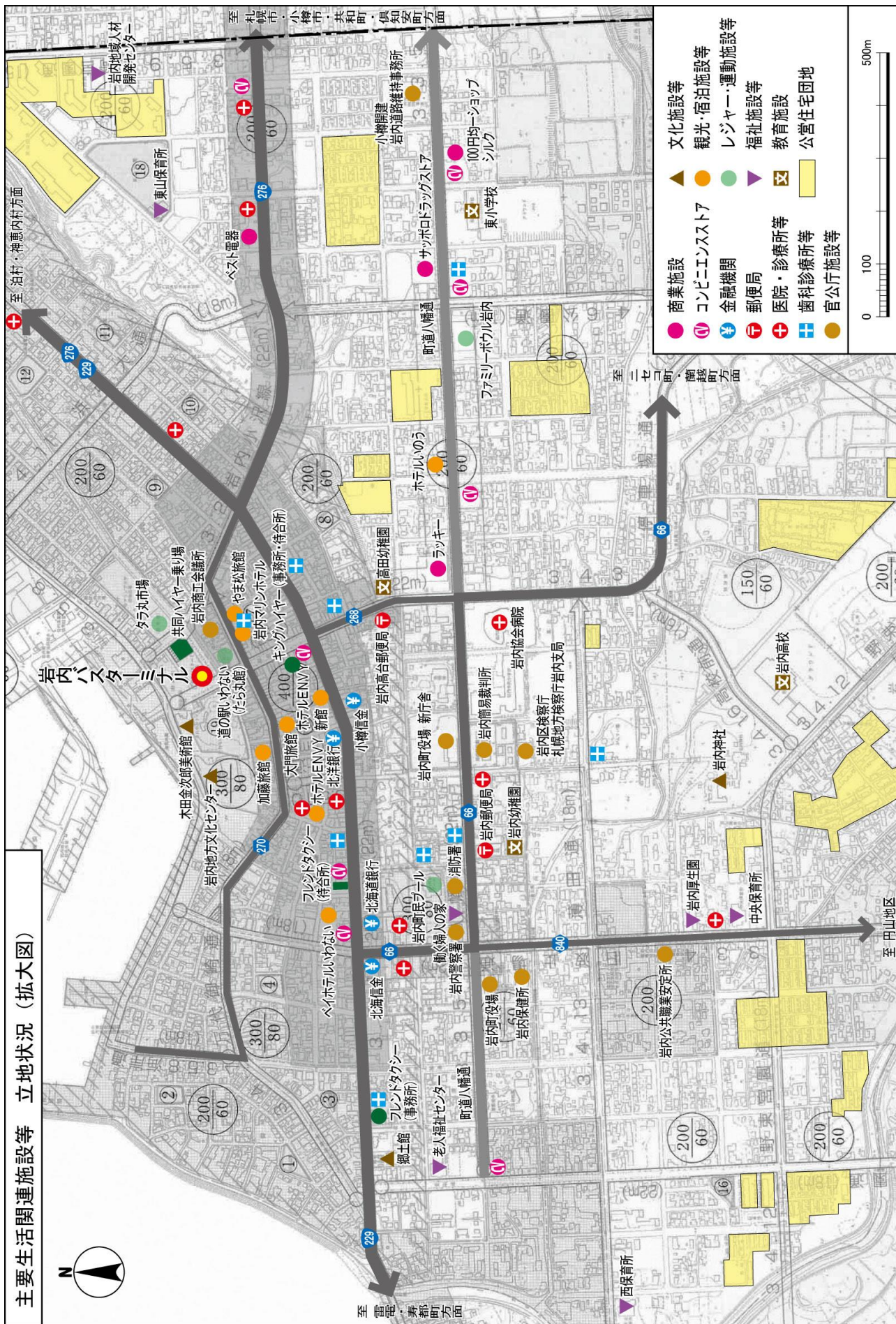
（３）生活関連施設等の分布状況

岩内町（一部共和町を含む）における主要な生活関連施設等の分布状況を見ると、中心商店街、町道八幡通、道道66号岩内洞爺線、国道276号沿道の市街地に主要な生活関連施設等が立地している。

公営住宅団地は、中心部を取り巻くような形で市街地の外側に分布している。円山地区には温泉ホテルやスキー場、キャンプ場などが立地している。



主要生活関連施設等 立地状況（拡大図）



I－2 地域公共交通現況

(1) 地域公共交通の概要

岩内町を運行している路線バスは現在5路線運行されており、すべて岩内バスターミナルを起終点としている。うち4路線は他市町村とを結ぶバス路線であり、町内だけで完結する路線は1路線のみである。

図 岩内町を運行する路線バス概要

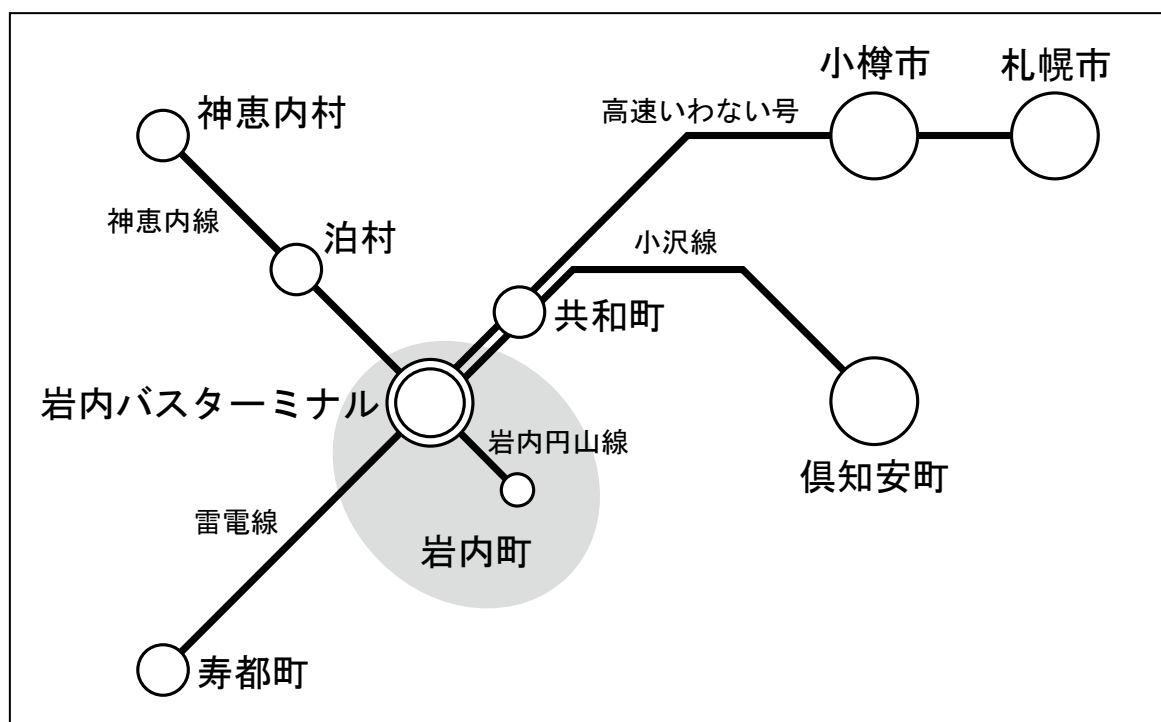


表 岩内町を運行する路線バス概要

区分	名称等	ルート等	頻度等※	運行事業者
広域路線	高速いわない号	岩内 ～共和・小樽・札幌	16往復/日	北海道中央バス
	神恵内線	岩内 ～泊・神恵内	12往復/日	北海道中央バス
	雷電線	岩内 ～寿都	6往復/日	ニセコバス
	小沢線	岩内 ～共和・倶知安	9往復/日	ニセコバス
町内路線	岩内円山線	岩内バスターミナル ～円山方面	4循環/日	北海道中央バス

※平成26年夏ダイヤ（平日）

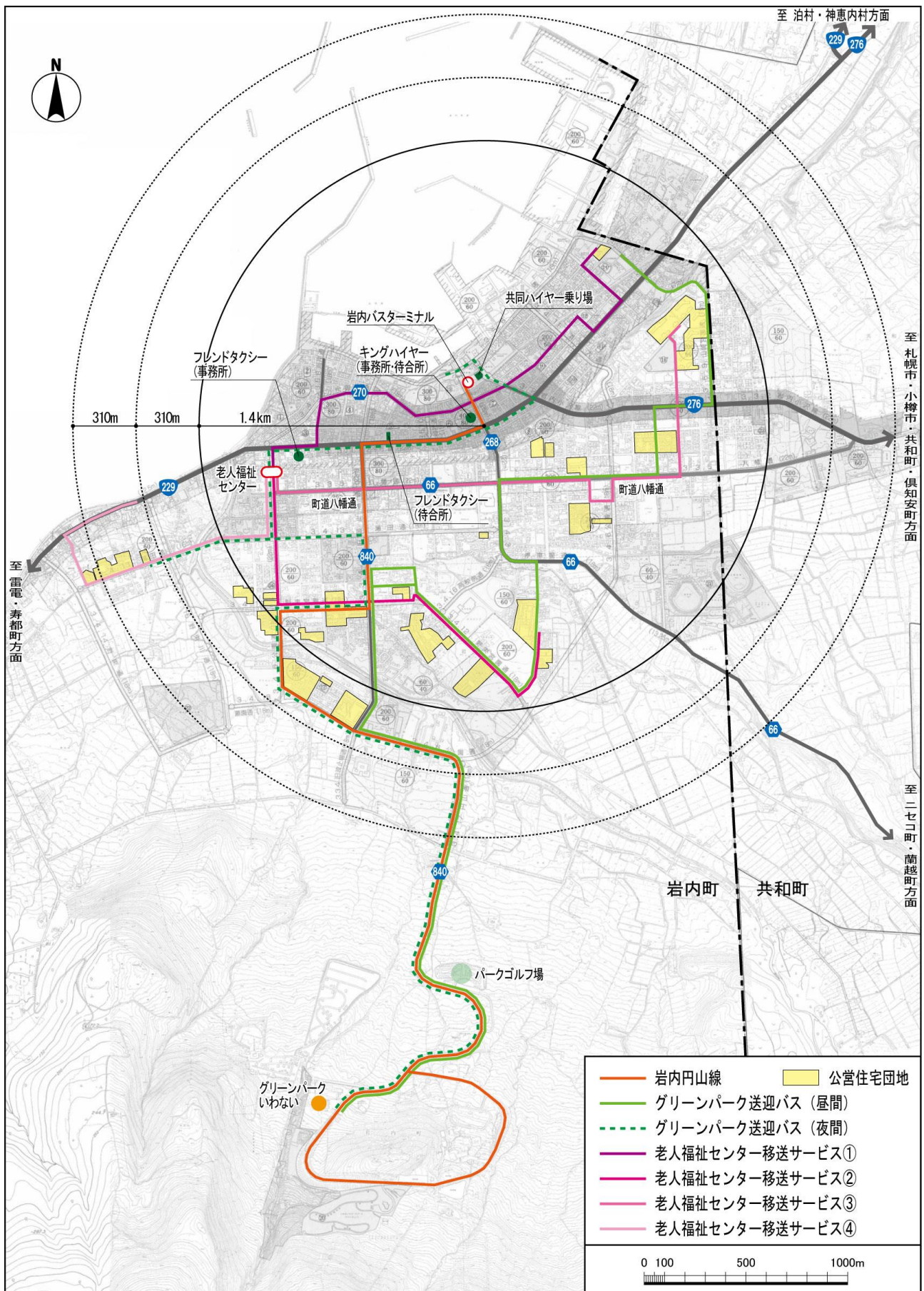
路線バス以外では、タクシー事業者がフレンドタクシーとキングハイヤーの2社営業しているほか、その他として民間ホテルの送迎車や町の福祉施策として老人移送サービスなどが実施されている。

表 その他交通サービスの状況

区分	名称等	ルート等	頻度等	備考
その他	グリーンパーク いわないシャトルバス	グリーンパークいわない⇔市街地内を連絡	行き2便・帰り2便	・日帰り専用 ・無料
			火・木・土の夜間 行き1便・帰り1便	・無料
	老人移送サービス	町内所定の乗車場所 (19カ所) ⇔福祉センターを連絡	週2便(月・木) 65歳以上で福祉センターへの移動が困難な方を対象	・町実施事業(タクシー会社に委託) ・無料
	福祉有償運送サービス	利用者の依頼により町内に限り移送	介護認定者や障害者を対象	・社会福祉協議会実施事業 ・有料

(平成27年3月末現在)

図 その他交通サービスの状況

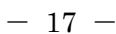


（２）路線バス現況

① 運行ルート

他市町村と結ぶバス路線は、市町村間をネットワークすることが大きな目的としており、基本的に国道をルートとしてバスターミナルに入る経路となっている。このため、バス停留所は国道沿道にしかなく、面的に市街地をカバーするような路線とは言い難い。

また町内路線である岩内円山線は、バスターミナルと郊外のレクリエーションゾーンである円山地区とを結ぶ路線であり、町内の主要な施設をネットワークするといった路線とはなっていない。



② 運行ダイヤ（平成26年夏ダイヤ）

岩内円山線 4往復			
岩内バスT	→	岩内バスT	備考
8:55	→	9:30	
11:00	→	11:35	
12:55	→	13:30	
15:20	→	15:55	

雷電線 6往復							
岩内バスT	→	寿都T	備考		寿都T	→	岩内バスT
9:52	→	11:00			6:15	→	7:23
12:13	→	13:21			8:05	→	9:13
14:37	→	15:45			8:55	→	10:03
16:50	→	17:58			10:55	→	12:03
17:57	→	19:05			14:20	→	15:28
19:22	→	20:30			17:30	→	18:38

小沢線 9往復							
岩内バスT	→	倶知安駅前	備考		倶知安駅前	→	岩内バスT
6:55	→	7:39			6:45	→	7:35
7:50	→	8:40			8:00	→	8:44
9:20	→	10:04			8:55	→	9:39
10:20	→	11:04			10:20	→	11:10
11:30	→	12:14			12:30	→	13:14
14:00	→	14:44			14:55	→	15:45
16:05	→	16:55			16:00	→	16:44
17:20	→	18:10			17:15	→	18:05
18:40	→	19:24			18:55	→	19:39

高速いわない号 16往復							
岩内バスT	→	札幌ターミナル	備考		札幌ターミナル	→	岩内バスT
6:25	→	8:58			7:05	→	9:34
7:05	→	9:38			8:05	→	10:34
7:45	→	10:18			8:55	→	11:24
8:25	→	10:58			9:55	→	12:24
9:05	→	11:38			10:55	→	13:24
9:45	→	12:18			11:55	→	14:24
10:25	→	12:58			12:35	→	15:04
11:25	→	13:58			13:15	→	15:44
12:25	→	14:58			13:55	→	16:24
13:05	→	15:38			14:35	→	17:04
13:45	→	16:18			15:15	→	17:44
14:45	→	17:18			15:55	→	18:24
15:45	→	18:18			16:35	→	19:04
16:45	→	19:18			17:15	→	19:44
17:58	→	20:22			18:15	→	20:44
19:08	→	21:32			19:15	→	21:39

神恵内線 12往復							
岩内バスT	→	大森・神威 岬・盃温泉 街・川白	備考		大森・神威 岬・盃温泉 街・川白	→	岩内バスT
6:10	→	7:12	大森		6:12	→	盃温泉街
7:50	→	8:52	大森		6:12	→	川白
9:50	→	11:28	神威岬		6:55	→	盃温泉街
10:55	→	11:30	盃温泉街		7:28	→	大森
11:50	→	12:25	盃温泉街		9:05	→	大森
12:40	→	14:18	神威岬		11:40	→	盃温泉街
14:00	→	15:02	大森		11:45	→	神威岬
15:30	→	16:05	盃温泉街		13:55	→	盃温泉街
16:10	→	16:47	盃温泉街		14:31	→	神威岬
17:30	→	18:51	川白		16:08	→	大森
18:10	→	19:12	大森		17:04	→	盃温泉街
20:10	→	20:12	大森		19:05	→	川白

※神威岬までは夏期のみ運行

岩内ターミナル発着時刻（平成26年夏ダイヤ）

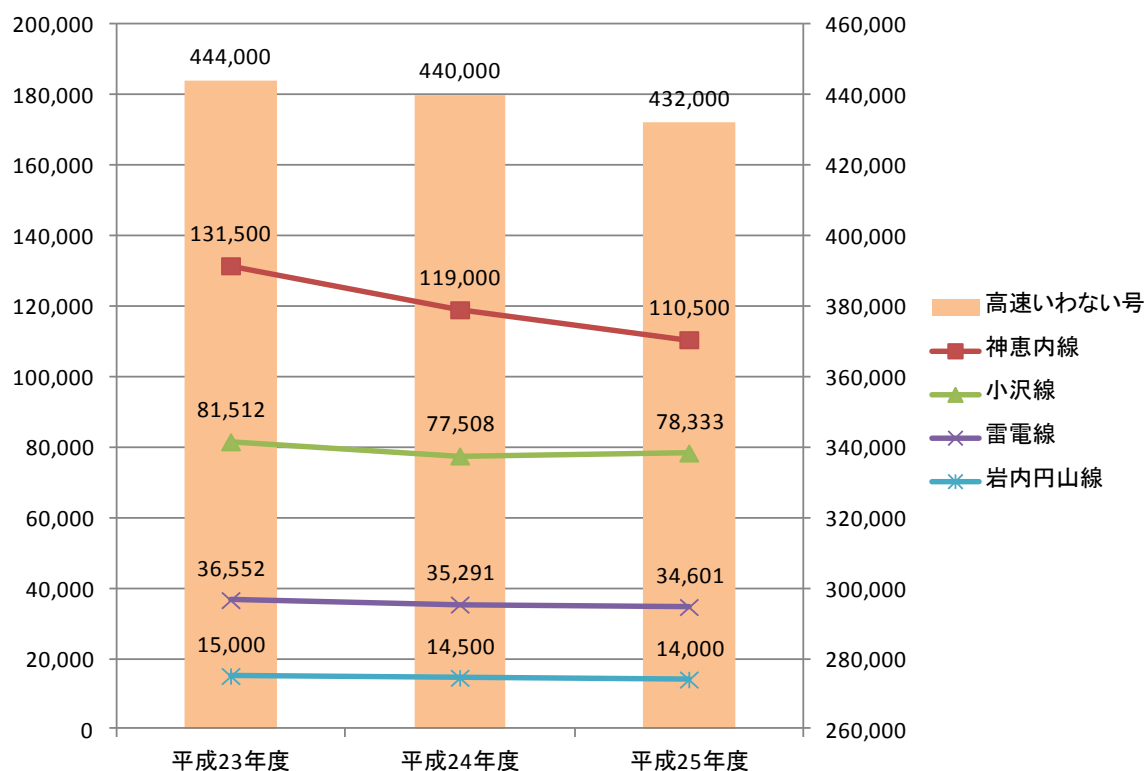
	路線	岩内バス 発 時刻	路線	岩内バス 着 時刻
6 時台	神恵内線	6:10	神恵内線	6:47
	高速いわない号	6:25		
	小沢線	6:55		
7 時台	高速いわない号	7:05	雷電線	7:23
	高速いわない号	7:45	神恵内線	7:32
	小沢線	7:50	神恵内線	7:33
	神恵内線	7:50	小沢線	7:35
8 時台	高速いわない号	8:25	神恵内線	8:33
	岩内円山線	8:55	小沢線	8:44
9 時台	高速いわない号	9:05	雷電線	9:13
	小沢線	9:20	岩内円山線	9:30
	高速いわない号	9:45	高速いわない号	9:34
	神恵内線	9:50	小沢線	9:39
	雷電線	9:52		
10時台	小沢線	10:20	雷電線	10:03
	高速いわない号	10:25	神恵内線	10:07
	神恵内線	10:55	高速いわない号	10:34
11時台	岩内円山線	11:00	小沢線	11:10
	高速いわない号	11:25	高速いわない号	11:24
	小沢線	11:30	岩内円山線	11:35
	神恵内線	11:50		
12時台	0:00	12:13	雷電線	12:03
	高速いわない号	12:25	神恵内線	12:15
	神恵内線	12:40	高速いわない号	12:24
	岩内円山線	12:55		
13時台	高速いわない号	13:05	小沢線	13:14
	高速いわない号	13:45	神恵内線	13:23
			高速いわない号	13:24
			岩内円山線	13:30
14時台	小沢線	14:00	高速いわない号	14:24
	神恵内線	14:00	神恵内線	14:30
	雷電線	14:37		
	高速いわない号	14:45		
15時台	岩内円山線	15:20	高速いわない号	15:04
	神恵内線	15:30	雷電線	15:28
	高速いわない号	15:45	高速いわない号	15:44
			小沢線	15:45
			岩内円山線	15:55
16時台	小沢線	16:05	神恵内線	16:09
	神恵内線	16:10	高速いわない号	16:24
	高速いわない号	16:45	小沢線	16:44
	雷電線	16:50		
17時台	小沢線	17:20	高速いわない号	17:04
	神恵内線	17:30	神恵内線	17:10
	雷電線	17:57	神恵内線	17:39
	高速いわない号	17:58	高速いわない号	17:44
18時台	神恵内線	18:10	小沢線	18:05
	小沢線	18:40	高速いわない号	18:24
			雷電線	18:38
19時台	高速いわない号	19:08	高速いわない号	19:04
	雷電線	19:22	小沢線	19:39
			高速いわない号	19:44
20時台	神恵内線	20:10	神恵内線	20:23
			高速いわない号	20:44
21時台			高速いわない号	21:39

（３）路線バスの利用者数の推移

ここ３カ年の路線バスの年間利用者数の推移をみると、どの路線も微減、横ばいといった状況である。

岩内町を運行する５路線の中では、神恵内線の減少率が大きく、平成23年度から平成25年度で見ると、他の路線が数パーセントの減少であるのに対し、16%減少している。

図 路線バス年間利用者数の推移



資料：北海道中央バス・ニセコバス

表 路線バス年間利用者数の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	H25/H23
高速いわない号	444,000	440,000	432,000	97%
神恵内線	131,500	119,000	110,500	84%
小沢線	81,512	77,508	78,333	96%
雷電線	36,552	35,291	34,601	95%
岩内円山線	15,000	14,500	14,000	93%

資料：北海道中央バス・ニセコバス

Ⅱ 住民ニーズの把握

Ⅱ－１ 住民アンケート調査実施概要

アンケート実施期間：平成26年9月下旬～平成26年10月10日

配布・回収方法：無作為抽出した2000世帯に郵送で配布し、郵送により回収。

配布数：2,000票

回収数：822票

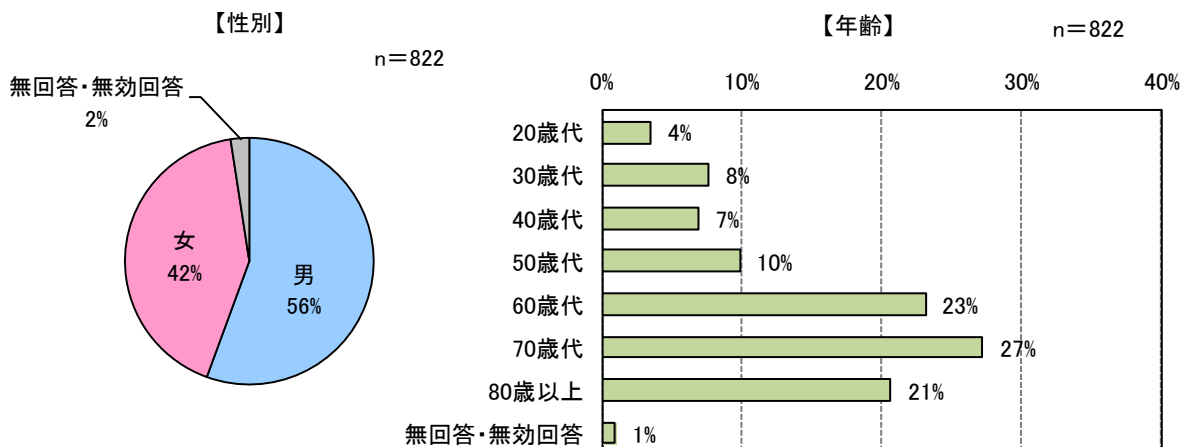
回収率：41.1%

Ⅱ－２ 住民アンケート調査結果

(1) 回答者の属性

①性別・年齢

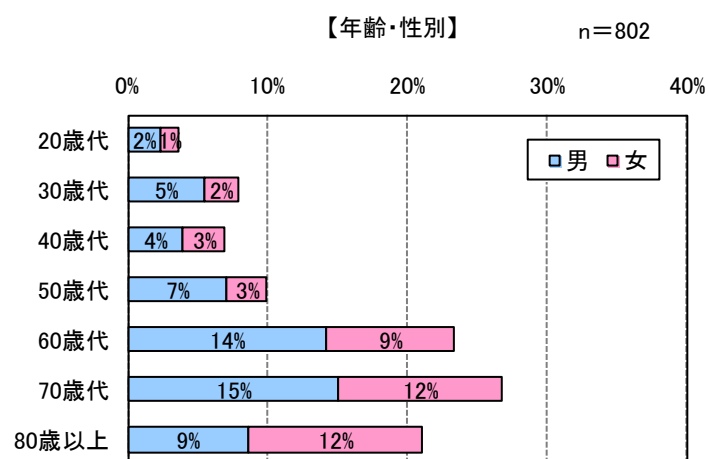
回答者の性別は男性56%、女性42%、年代は70歳代がもっとも多く27%、次いで60歳代23%、80歳以上21%となっており60歳以上の回答者が7割を超える。



※四捨五入の関係で、グラフ中の構成比を合計しても100%にならない場合がある。

※グラフには四捨五入値ではなく、構成比の正確な値を反映させている。例えば0.4%等の場合四捨五入では0%と示されてもグラフには本来の値を反映させているため、棒が示される。

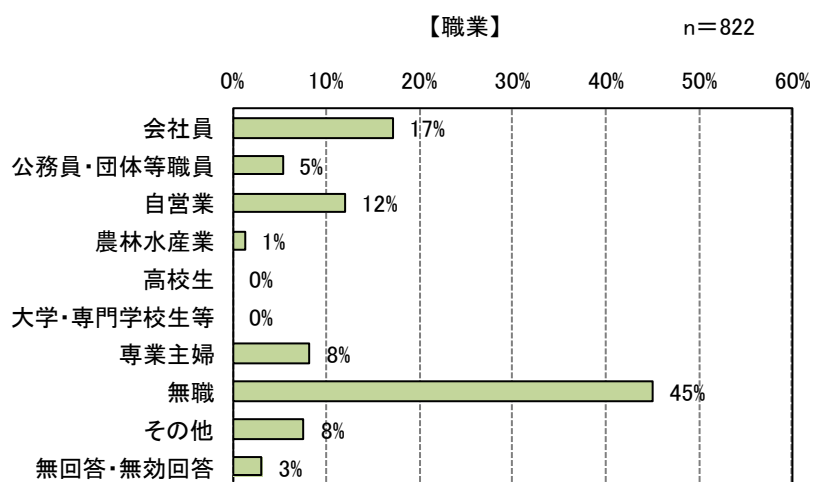
また、6.6%と7.4%は四捨五入されると7%と表記されるが、グラフにはこの差が反映されているため、同じパーセンテージでも棒グラフの長さが違う場合がある。以降同様。



※無回答・無効回答を除いているため n = 802 となっている。

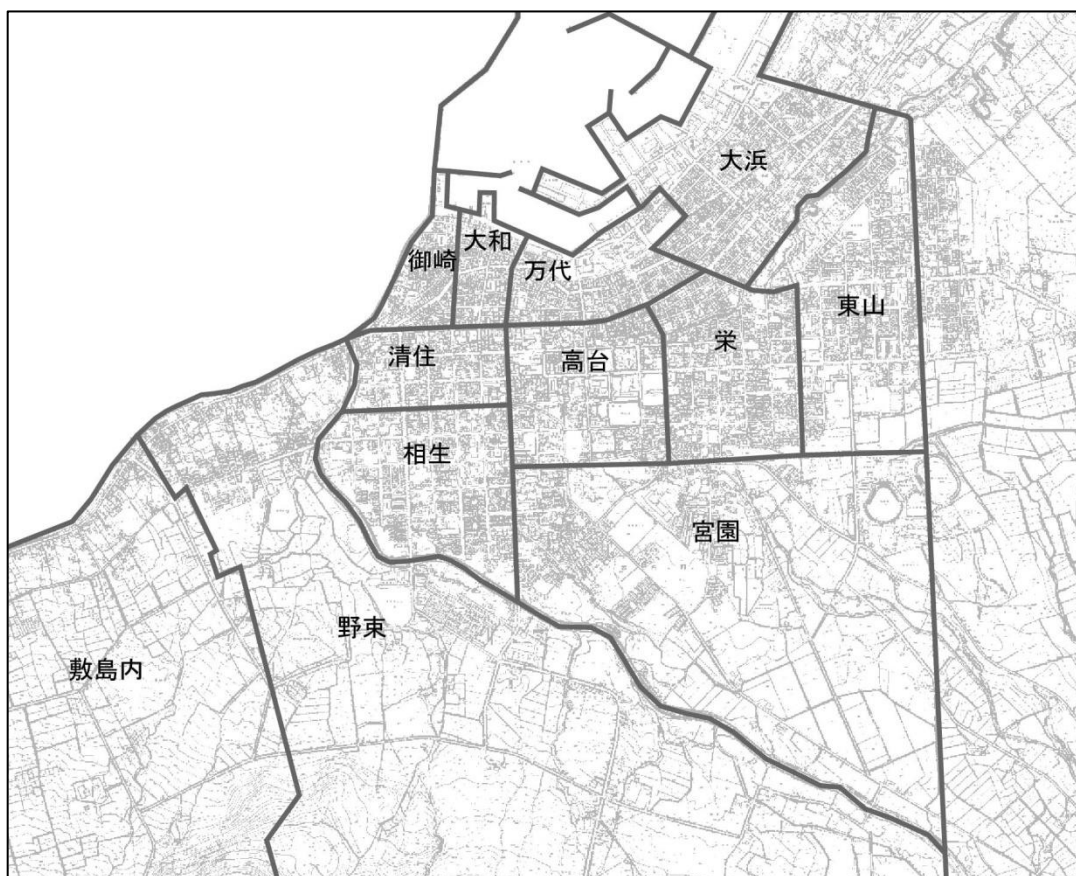
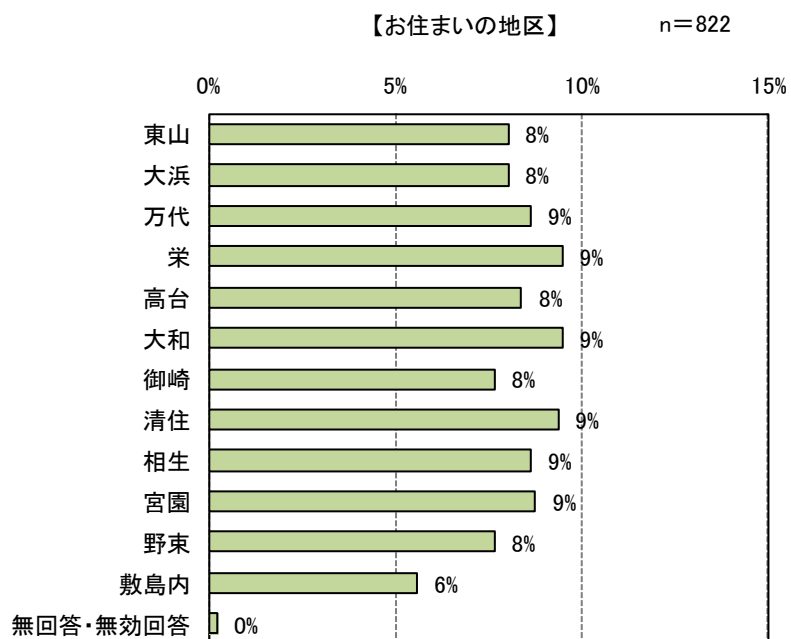
②職業

回答者の中の高齢者の占める割合が多いこともあり、「無職」がもっとも多く45%、次いで会社員17%、自営業12%となっている。



③住まい

町内12地区別の回答者数の状況を見ると、ほぼ各地区から満遍なく回答が得られている。



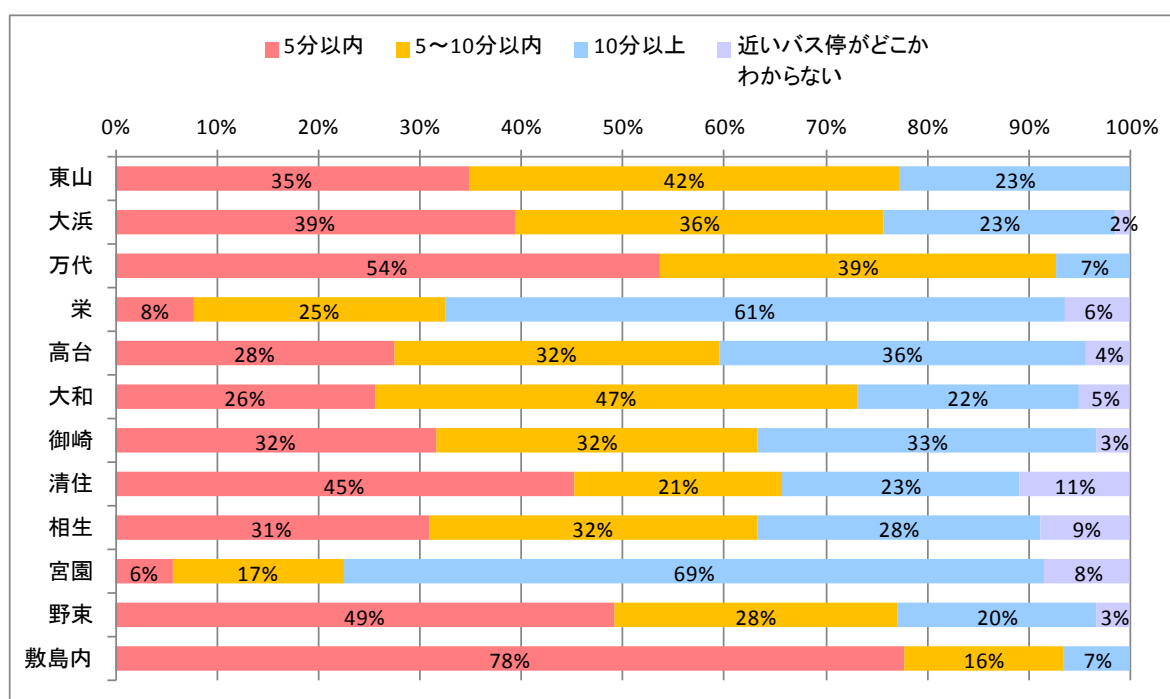
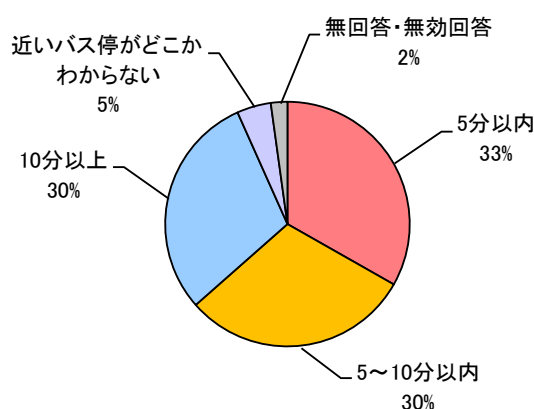
④最寄りバス停について

一番近いバス停までの所要時間（徒歩）は、「5分以内」がもっとも多く33%、次いで「10分以上」と「5～10分以内」がほぼ同数で30%となっている。町全体ではバス停から10分以内が60%を超える。

一方地区別でみると、「宮園地区」と「栄地区」は最寄りのバス停まで「10分以上」がそれぞれ69%、61%となっている。また高台地区も「10分以上」が36%と、バスの運行経路によって、地区別の差が大きい。

【一番近いバス停までの所要時間（徒歩）】

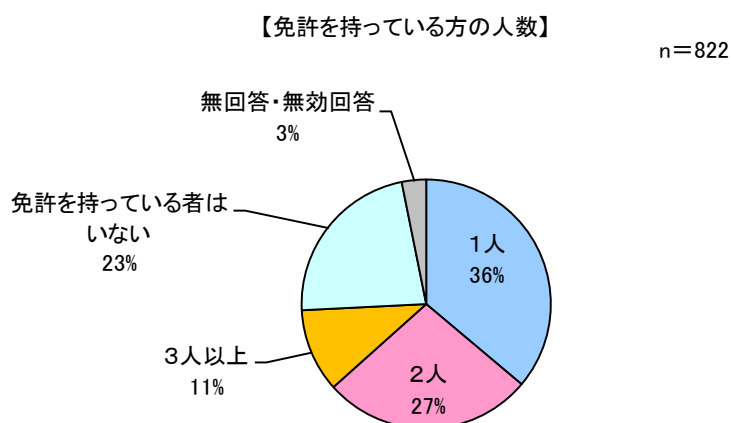
n=822



(2) 自動車の運転について

①世帯での運転免許保有者数について

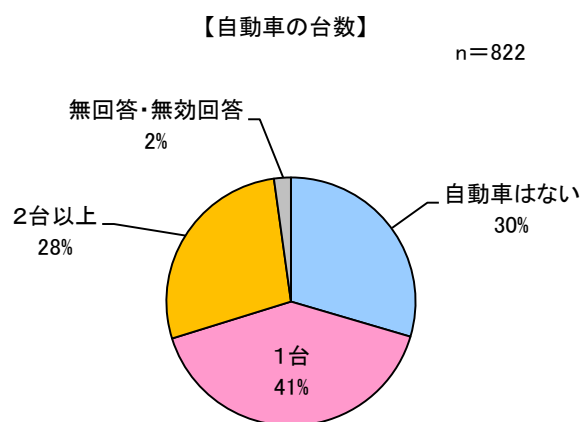
世帯での運転免許保有者数は、「1人」がもっとも多く36%、次いで「2人」が27%となっている。また「免許を持っている者はいない」世帯は23%であった。



②世帯での自動車保有台数

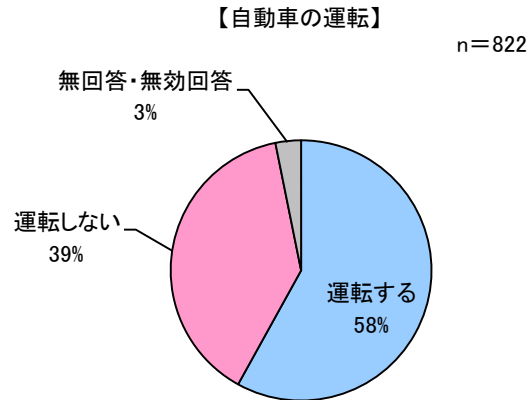
世帯での自動車保有台数は、「1台」がもっとも多く41%、「2台以上」という回答と合わせると、68%の世帯で自動車を保有している。

また「自動車はない」世帯は30%である。



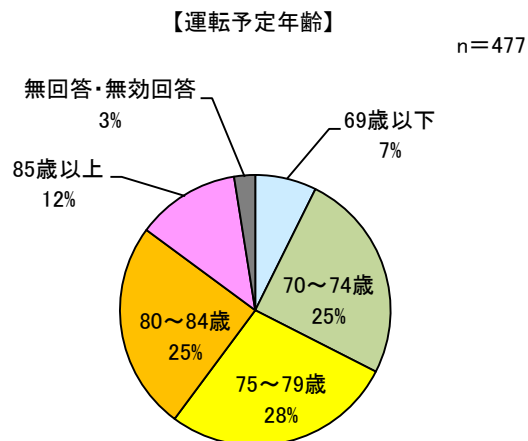
③自動車の運転について

現在、車を運転しているかどうかについては、「運転する」が58%、「運転しない」が39%であった。



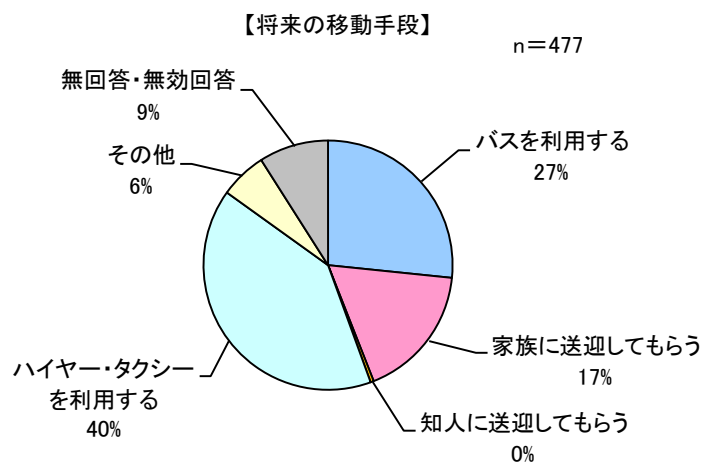
③-1 何歳まで運転するか

「運転する」と回答された方に対し「今後何歳くらいまで、自動車を運転する予定か」について尋ねたところ、75～79歳がもっとも多く28%、次いで80～84歳が25%であり、「80歳未満」を合計すると60%、「85歳未満」を合計すると85%となる。



③－２ 運転できなくなったときの移動手段

運転できなくなったときの移動手段について尋ねると、「ハイヤー・タクシーを利用する」がもっとも多く40%、次いでバスを利用するが27%となっている。



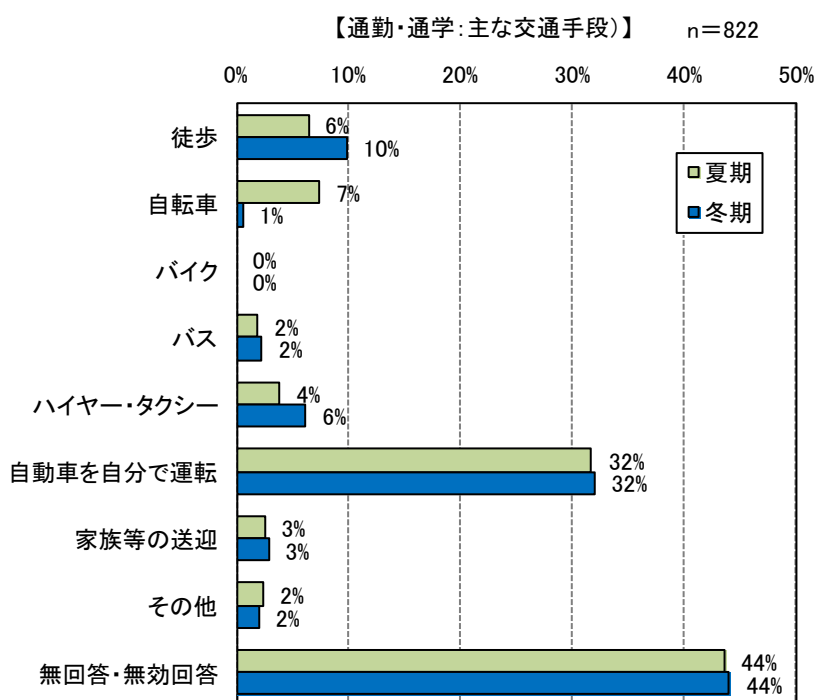
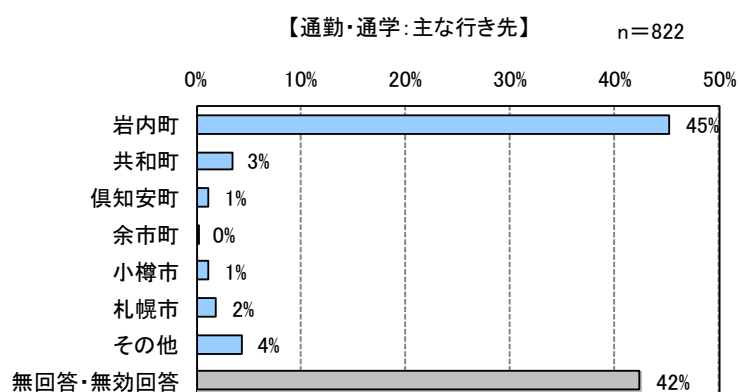
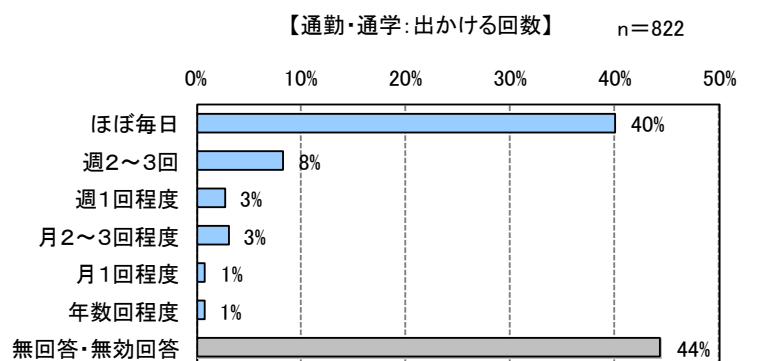
(3) 目的別の外出頻度、行先、交通手段

①通勤・通学

外出頻度は「ほぼ毎日」がもっとも多く40%、次いで「週2～3回」が8%である。

主な行先は「岩内町」がもっとも多く45%、次いで「共和町」が3%である。

主な交通手段は夏期冬期とも「自動車を自分で運転」がもっとも多く32%となっている。バスの利用は2%程度である。

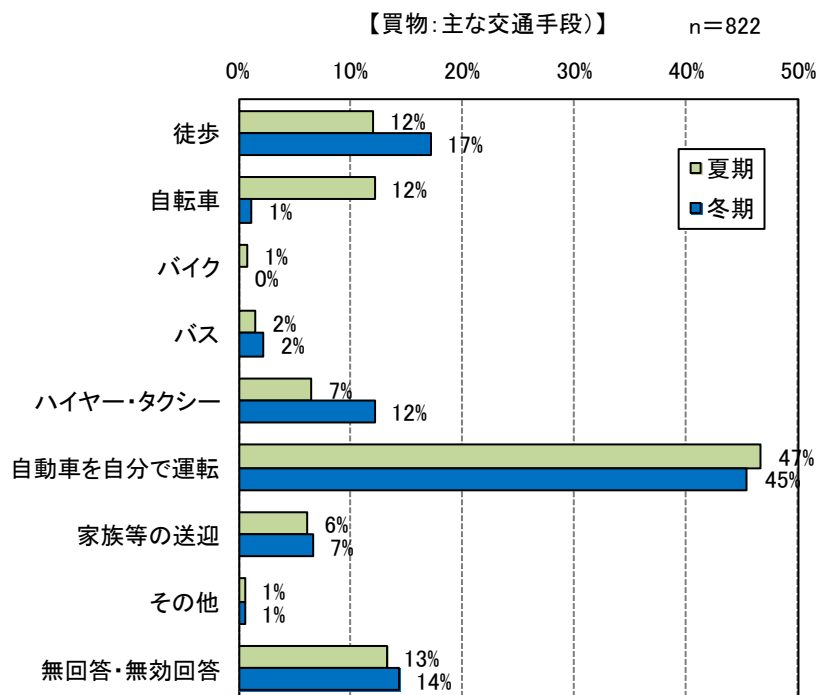
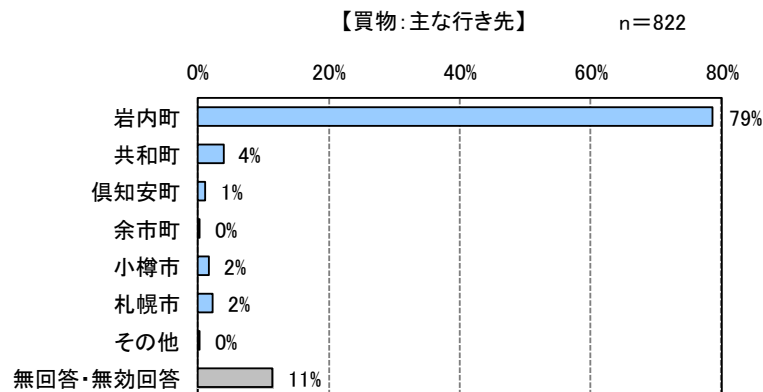
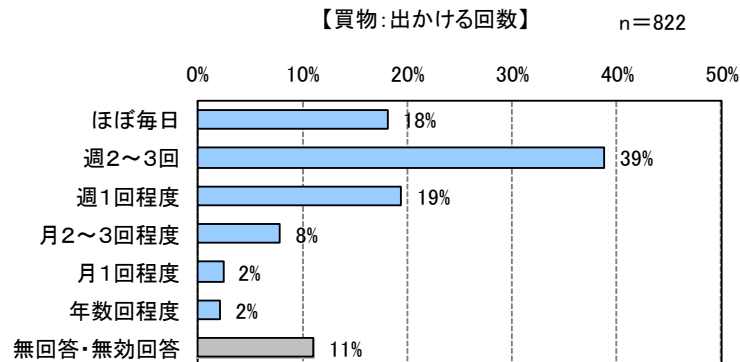


②買物

外出頻度は「週2～3回」がもっとも多く39%、次いで「週1回程度」が19%、「ほぼ毎日」が18%である。

主な行先は「岩内町」が大半を占め79%、次いで「共和町」が4%である。

主な交通手段は夏期冬期とも「自動車を自分で運転」がもっとも多く45～47%となっている。バスの利用は2%程度である。ハイヤー・タクシーの利用が冬期は12%と1割を超える。

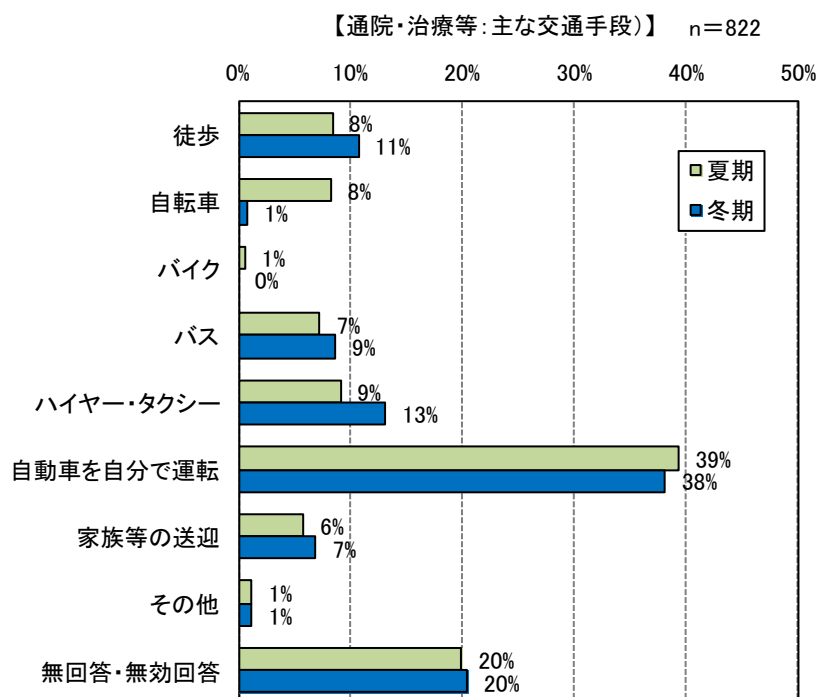
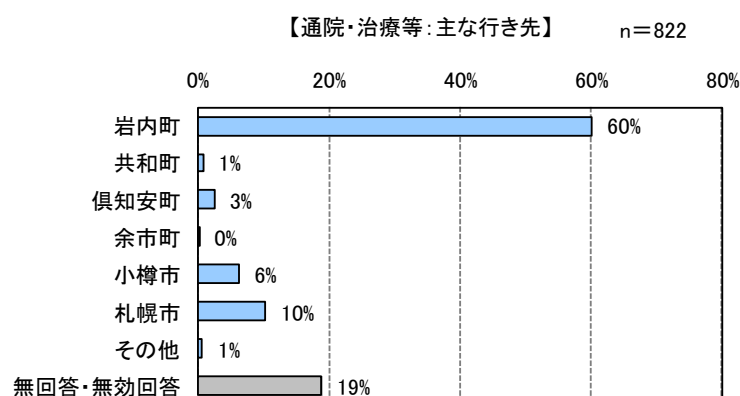
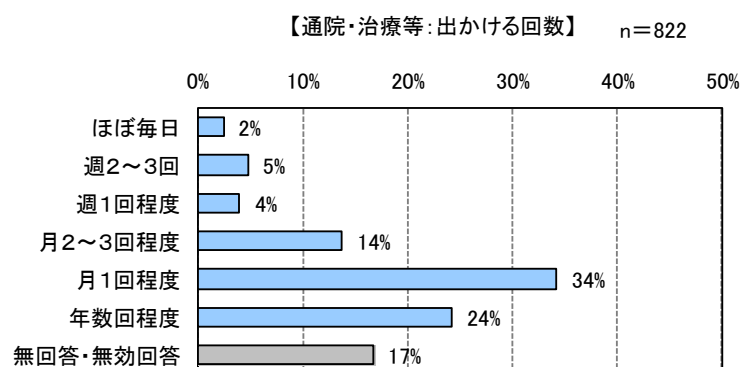


③通院・治療等

外出頻度はほぼ「月1回程度」がもっとも多く34%、次いで「年数回程度」が24%、「月2～3回」が14%である。

主な行先は「岩内町」がもっとも多く60%、次いで「札幌市」が10%である。

主な交通手段は夏期冬期とも「自動車を自分で運転」がもっとも多く38～39%となっている。バス利用は比較的多く7～9%、ハイヤー・タクシーの利用が冬期は13%と1割を超える。

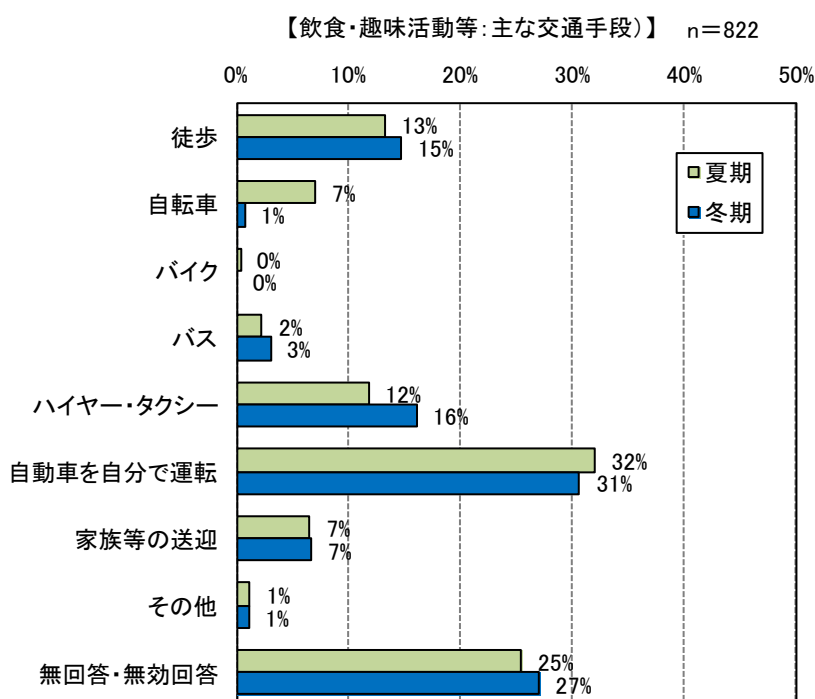
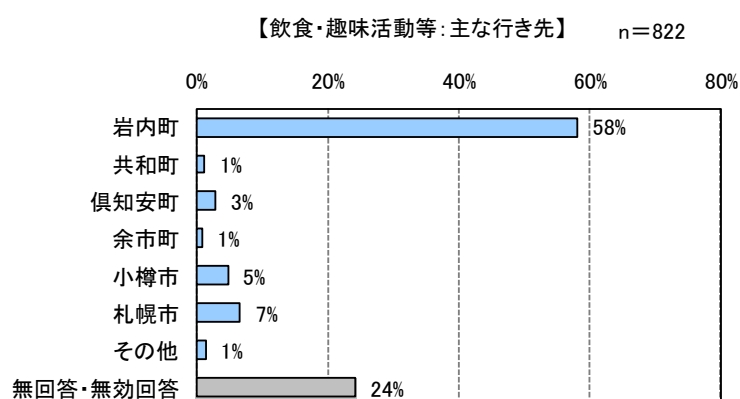
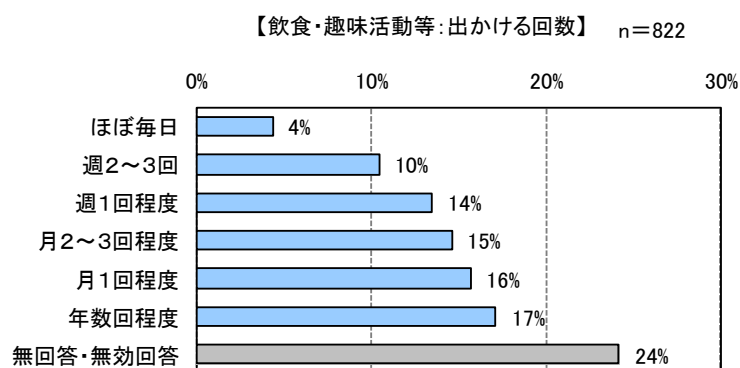


④ 飲食・趣味活動等

外出頻度は「年数回程度」がもっとも多く17%、次いで「月1回程度」が16%である。

主な行先は「岩内町」がもっとも多く58%、次いで「札幌市」が7%である。

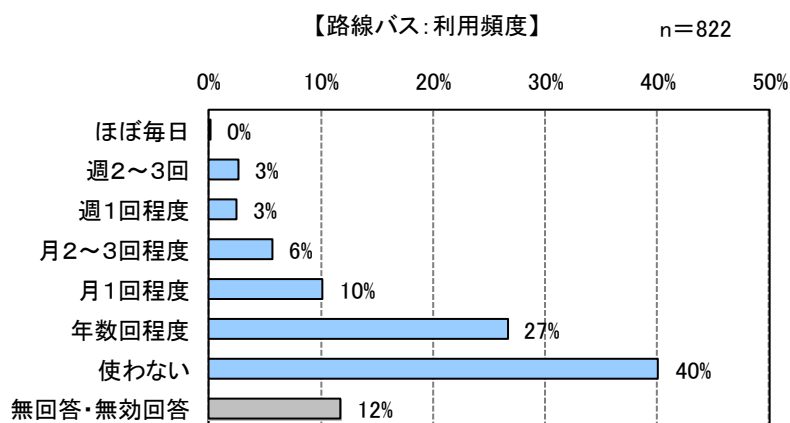
主な交通手段は夏期冬期とも「自動車を自分で運転」がもっとも多く31～32%となっている。バス利用は2～3%である。ハイヤー・タクシーの利用が夏期・冬期とも1割を超え、それぞれ12%、16%となっている。



(4) 路線バスの利用状況

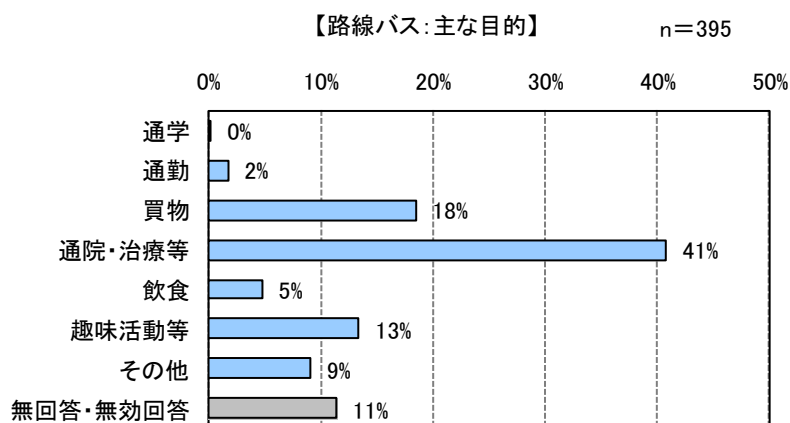
①利用頻度

路線バスの利用頻度は、「使わない」がもっとも多く40%、次いで「年数回程度」27%であり、全般的に路線バスの利用頻度は非常に低い。



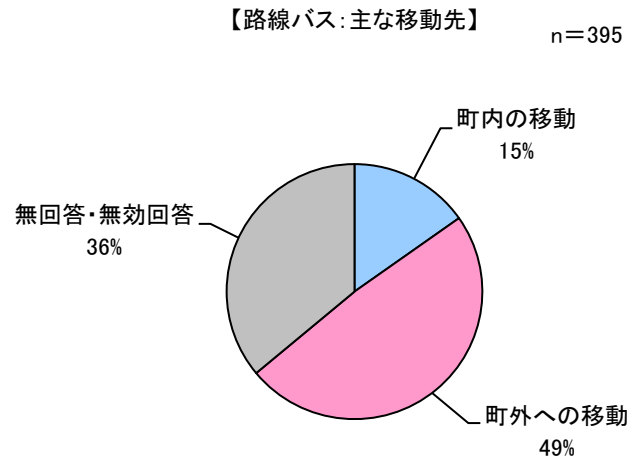
②利用目的

路線バスの利用目的としては「通院・治療等」がもっとも多く41%、次いで「買物」が18%、「趣味活動等」が13%となっている。



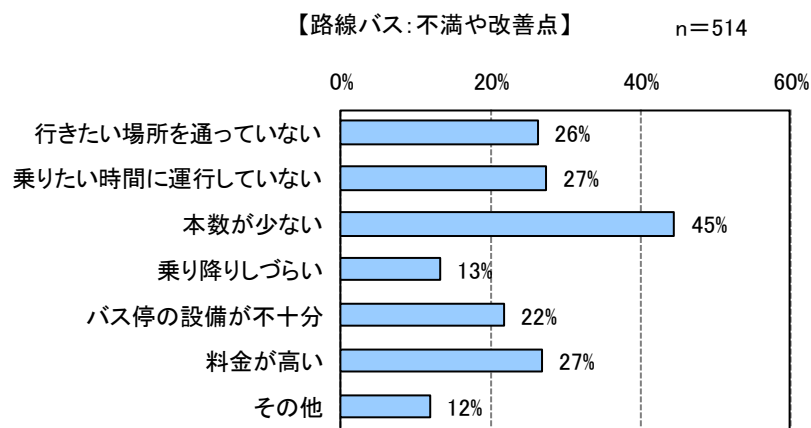
③移動先

バスを利用した主な移動先は、「町外への移動」がほぼ半数の49%、「町内の移動」は15%となっている。



④不満や改善点（複数回答）

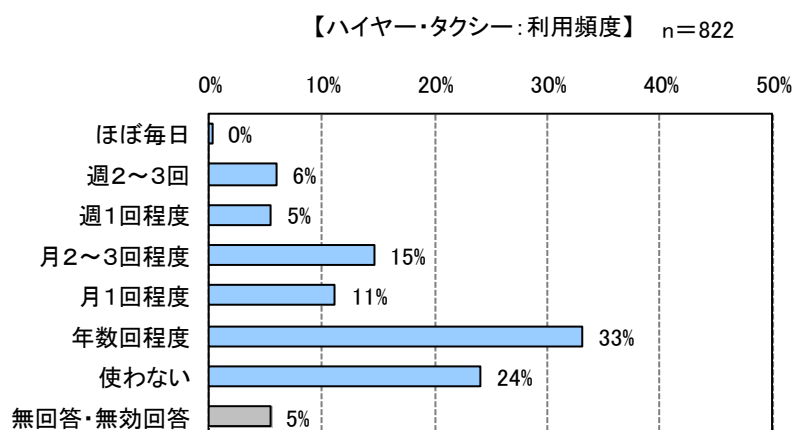
路線バスに対する不満や改善点は、「本数が少ない」がもっとも多く45%、次いで「乗りたい時間に運行していない」、「料金が高い」がほぼ同数で27%、「行きたい場所を通っていない」が26%となっている。



(5) ハイヤー・タクシーの利用状況

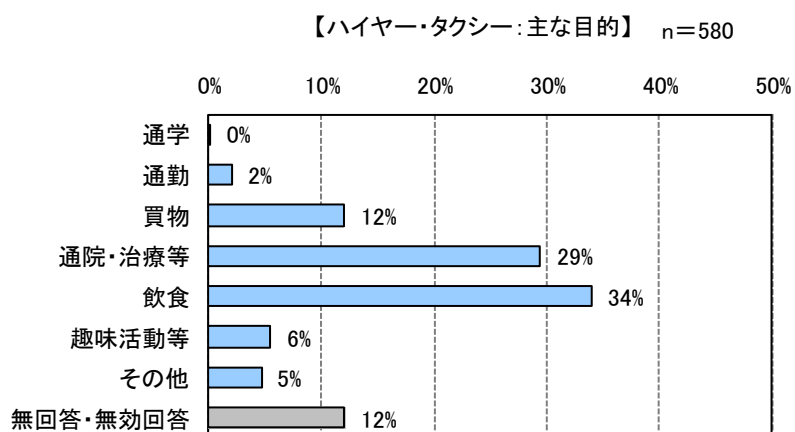
①利用頻度

ハイヤー・タクシーの利用頻度は、「年数回程度」がもっとも多く33%、次いで「使わない」が24%となっている。



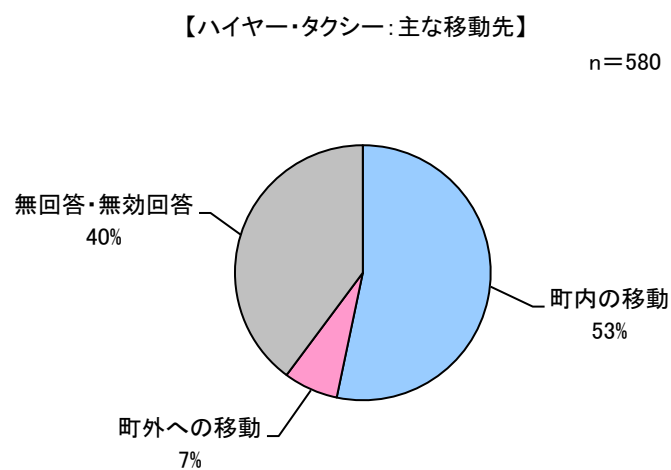
②利用目的

ハイヤー・タクシーの利用目的としては「飲食」がもっとも多く34%、次いで「通院・治療等」が29%と、アルコールが入るときや具合が悪いときの利用が多いことが想定される。



③移動先

ハイヤー・タクシーを利用した主な移動先は、「町内の移動」が53%、「町外の移動」が7%となっている。



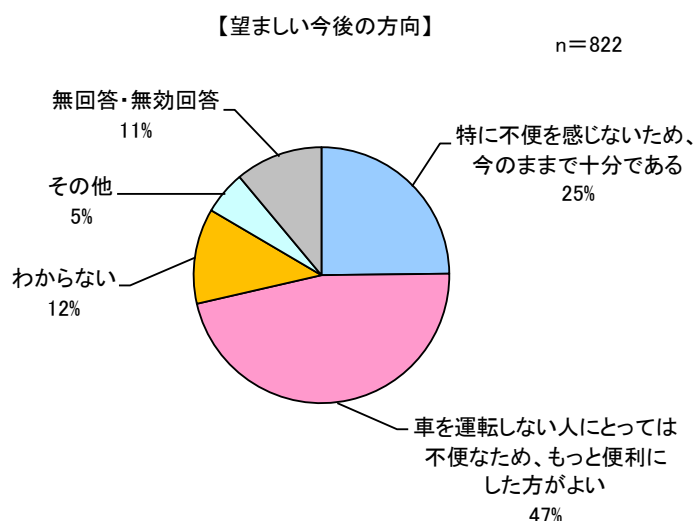
④不満や改善点

不満や改善点に関する自由記述意見では、料金の高さや運転手のマナー等に関するものが多かった。

意見概要	意見数
料金が高い	41
運転手のマナーが良くない、遠回りする等	34
特になし	21
その他	9
24時間営業してほしい	5
満足	3
合計	113

(6) 公共交通の今後のあり方

公共交通の望ましい今後の方向としては「車を運転しない人にとっては不便なため、もっと便利にした方がよい」がもっとも多く47%、次いで「特に不便を感じないため、今のままで十分である」が25%となっている。



(7) その他意見等

自由記入欄には、数多くの意見を頂いた。ここでは、意見を概略で分類し、代表的な意見をいくつか紹介する。詳細の意見は参考資料にて記載している。

【町内循環バス等の運行】

- ・買い物、通院などに便利な町内を巡回するバスがあればよいと思います。
- ・町内移動バスがあるといいです。スーパーとか病院前で降りれる、そして料金も安いほうがいいです。たとえば1人100円くらいです。
- ・高齢者、特に車を運転しない方にとって公共交通機関はとても大事です。なので倶知安町のような町運営のミニバスを巡回（無料？）させるなどして町内の人の循環の活性化を図るといいのではないのでしょうか。

【バスの本数増・停留所増設】

- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・車の運転が出来なくなったらバスやハイヤーの利用しかありません。停留所がもっとたくさんあるとバスも利用しやすいと思います。

【バスやバス待ち環境について】

- ・市内バスは小型か中型で良いと思う
- ・ノンステップバスがあったら良いと思う。

- ・町内の公共交通に関しましてはとくに冬季期間に停留所の風と雪よけなどがあれば大変助かります。

【広報・PR，サービスの充実等】

- ・使用しない人はどのようなものか調べない。利便性などを広報すべき。
- ・利用の仕方が分からない人も多いと思います。特に老人世帯です。もっと分かりやすく利用できるようお願いします。

【今のまま維持】

- ・利用者の減少が課題となっている中、今のままぐらいは、出来れば守ってほしいです。
- ・今のままで良いと思う。

【不安や不便な点】

- ・現在は運転できるが今後のことを思うと岩内町は住みづらいと思う。通院、買い物にもっと利用しやすくして欲しいです。
- ・車がないためバスを利用しているが行きたい場所までバスが通っていないためバスを降りてから目的の場所まで歩いていくのが大変です。特に雨や雪の日など。吹雪で天気が悪いときはバス時間が遅れて寒い中バス停で立っているのもつらく感じます。

【料金や福祉施策的展開について】

- ・病院に行く時、タクシー・バスを利用するので、料金が割安になると良いと思います。
- ・高齢者(年金者)へのバス料金の割引などがあれば助かります。

【参考１】自由記入欄意見

【町内循環バス等の運行】

- 町内の循環バス路線の充実。
- 町内を走るバスがあれば？
- 町内ならどこを走っても1回100円ですという方法。詳しい方法は分かりませんが。
- 岩内町内を巡回するバスがあっても良い。坂道が多いから。
- 倶知安のように町内を走る小型バスが便利
- 役場の福祉課等で買い物が出来るとマイクロバスの運行を希望します。
- マイクロバスやワゴン車によるシャトルバスの運行を低賃金でもっと乗車ポイントを増やして欲しい。
- バスのサイズを小さくして停車箇所を増やす
- 料金を安くして、小型乗り合いバスがあるといいと思う。
- バスの円山線は乗客が少ないので小型車にするか町の補助金を減額しても良いのでは。
- 岩内町の町の中を走るバスがあると良い。
- ラッキーなど買い物が出来るところへ停まることであればよい
- 町内で手を挙げて乗れるようになるとよいと思う。
- 毎日の買い物のために気軽に安く利用できる車（タクシー等）のあり方の検討。外出・買い物による生活力の向上のためにも。
- 利便性の良い公共交通（小回りが利く）が必要と思う。
- 町内無料の乗り合いバスが必要。
- 町内循環フリーバスを作ってください。
- 町内を回る巡回バスがあればもっと便利になると思う。
- バスの大きさは小さくして本数と路線を増やして欲しい。サッポロドラッグストアの通りにも走って欲しい。倶知安の路線バスの様に色々行けると助かる。
- バスの回数を増やした方が良いのではないのでしょうか。少なすぎる時間帯が1時間に1本でもよい。
- 安くて停留所が近くてが理想。
- 高齢者の多くなるであろう岩内町においては、出来ることであれば町内そして円山方面へ走るバスがあると温泉へ一人で行くことが出来、また友人とも会える事が出来、元気が出る生活があるのではと思います。ハイヤー・タクシーは必要な時以外には利用は年金生活者にとっては無理ですものネ…。
- バス利用のお客様を考えると、降りる場合を臨機応変にすると良いと思う。
- 循環バスがあればうれしい。9H～4H頃までも、本数が少なくてもがまんする程度。そしたら郷土館・美術館に行く機会が増えるかも？
- 町内の巡回バスがあればいいと思う。一日に2本くらいでもいいと思う。病院、温泉に行くときに利用したい。
- マイクロバスで町内を回るとよいなと思います。
- 路線バスの運行を希望する(町内)
- 買い物、通院などに便利な町内を巡回するバスがあればよいと思います。
- 利用者を増やしたいのであれば月極のフリーバスの導入等自動車を運転すること以上のメリットを打ち出すべき。月極フリーバスの導入等でガソリン代が高騰している現在、日々車を使用すること以上の経済的メリットがあれば自家用車からバスなどへの顧客の獲得が見込まれるだろう。
- 福祉センターから遠い距離に住んでいる高齢者のためのバスの運行があればいいと思う。運賃については無料でなくとも安ければ少しくらいは支払うことが可能ではないかと思う。
- 町内移動バスがあるといいです。スーパーとか病院前で降りれる、そして料金も安いほうがいいです。たとえば1人100円くらいです。
- 冬期などにバスを利用したいと思う時があるが町内のどこを通っているか分からない。ラッキーや病院の側にバス停があれば便利。
- マックスバリュやラッキーに買い物に行きたいが自転車では坂があるので大変。週1度くらい午後からマイクロバスなどあれば利用したい。
- 宮園地域でも住宅密集地にのみバス等しか走っていません。もっと広い視野で物事を決めてください。
- 中央バス（円山線）を見ますが数人(0から5)くらいしか乗っていません。ただ走らせるのではなく、コンパクトで需要にあったバスでよいのでは。
- バスの範囲を広げて欲しい。本数が増えると老人、子供等一般の人も助かると思う。タクシーは高齢者には割引料金などのサービスがあれば病院などに乗る人も多いかと思う。
- (バス路線について)利用者の減少は昔に比べればもちろんですが、その前に利用率が求められる最も重要な箇所に路線がない。例えば町役場や病院、職業安定所など重要機関があるところにバスが通っていないのでこの町に住んでいる限り必ず生活の中で利用すべき所にさえ老人や妊婦は雪の降るときにでも歩いて行かなくてはならない。そこをもっと考えていただきたい。
- 岩内町の商業施設を回る小型バスがあると便利だと思います。
- 高齢者、特に車を運転しない方にとって公共交通機関はとても大事です。なので倶知安町のような町運営のミニバスを巡回（無料？）させるなどして町内の人の循環の活性化を図るといいのではないのでしょうか。
- 病院、商店街、温泉、観光施設などを循環し町内消費の拡大につながるような仕組みを構築して頂きたい。
- ワンコインバスを循環させてほしい。コンパクトシティにするなど、都市計画の策定。
- 路線が一本では利用することが少ない。用を足したい目的地と路線が重なっていなければバスがある意味がない。高齢者や子供連れにバスを利用してもらうことを考えたら、各地区の団地に向けた路線があってもよいと思う。
- バスがベビーカーを持って乗りづらい。バス停・本数が少ないので町内を移動するには不便に感

- じる。
- 路線バスの運行地区が円山方面しかなく、コミュニティバスで充分なので、他の地区も増やしてほしい。
- 思いきって周辺の市町村と共同運営の地下鉄 or 路面電車をつくる。
- 小学生・老人のため、町内を通る小型バス又はライトバン車があれば良い。雨の日・冬に利用。低料金。

【バスの本数増・停留所増設】

- 車に乗っていても冬期など札幌に行く時など（公共交通を）利用したいが、本数が少ない為にやむを得ず歩いてしまいます。バス待ち時間を考えるとどうしても車で歩いてしまいます。採算性を考えると本数を減らす方法しかないのかもしれませんが、よりバスを利用しなくなりますね。
- バスの本数を増やしてほしい。
- 利用者が少ないので仕方ありませんが温泉、年金センター行きの本数が少ないです。
- 小樽、札幌方面に行くための本数が少ないのでもっと増やして欲しい。車がない人にはとても不便で困っています。
- 早朝出勤や遅くまでの倶知安行き、帰りのバスがなさすぎる。冬にあれば仕事先の選択肢が増える。
- 料金について、本数が不便
- 寿都、倶知安方面の夕方より夜の便が足りない。もう少し遅くまで走ってもらいたい。
- 小型でもよいので路線バスの回数を増やしてほしい。タクシー代が病院代より高くなるので苦しい。
- バスの本数を増やしてほしい
- バスの停留所をもっと増やして欲しい
- 車の運転が出来なくなったらバスやハイヤーの利用しかありません。停留所がもっとたくさんあるとバスも利用しやすいと思います。
- 小樽、札幌行きのバスの発停駅を町内数カ所においてはいかがですか(数カ所に)
- 買い物出来る場所へ停まらないので高齢者には不便だと思う
- 岩内―札幌間の夜のバスを増設すべきだ。(～22:00ぐらい)
- 使用しようとしても本数が少ないため利用しづらい。

【バスやバス待ち環境について】

- 市内バスは小型か中型で良いと思う
- 路線バスが大型すぎると思う。もっと小型のバスにしたらいと思う。
- バスの車体を小さくして本数を増やしたほうが良いと思います
- 今後バスは必要と思うが、もっとコンパクトなバスで十分だと思います。(空いている時間など)
- ノンステップバスがあったら良いと思う。
- バスの乗り降りがしづらい。
- バスはバス停の（冬ですが）雪かきをきちんとしてほしいです。年寄りが乗る時あぶないです。岩内のタクシーは乗りたくないです。
- 待合室（ベンチ付き）が無いので、雨天時及び冬

期間は使用できない。

- 足が悪いので乗り降りに段差が大変ですので、低い段のバスがあれば助かります。
- バス停に必ずベンチを設置する。時刻など表示も大きくする。
- 高齢者にはタクシーチケットの配布等をもっとした方が良いと思う。バス停の設備をもっとしてほしい。タクシー・ハイヤーは女性ドライバーを増やしてくれた方が安心して乗れると思う。
- 町内の公共交通に関しましてはとくに冬季期間に停留所の風と雪よけなどがあれば大変助かります。
- バス停に雨風しのぎの小屋がほしい。

【広報・PR，サービスの充実等】

- 公共交通を衰退させないためにはバスなどに乗っていただくサービスの開発が必要
- 使用しない人はどのようなものか調べない。利便性などを広報すべき。
- 円山の温泉に行く温泉の送迎バスの停留所をチラシ等で周知してほしい。利用したいと思っています。
- 利用の仕方が分からない人も多いと思います。特に老人世帯です。もっと分かりやすく利用できるようお願いします。

【今のまま維持】

- 本数を増やして値段を上げて文句。人それぞれに合せてたらキリが無い。今のままで十分。
- いつまでも続行してほしいです。
- 利用者の減少が課題となっている中、今のままぐらいいは、出来れば守ってほしいです。
- 今のままで良いと思う。
- 自分としては現行でよい。
- バス運行には本数が少ないですが運行していることに感謝しています。ハイヤーには運転手は一言も会話しなない方が多いです。
- 救急搬送されていらい札幌まで通院、治療に行っています。バスがなかったら病院へ行くことが出来ません。よろしくおねがいします！
- 今のままで十分です

【不安や不便な点】

- 大きいお店とか歯医者さんとかは全部遠くにあるため、大浜に住んでいる人にとっては交通の便がとても大変。今後買い物とか不安に思っています。バスに乗るにも一度バスターミナル迄行ってまたバスを待つことになる。
- 現在は運転できるが今後のことを思うと岩内町は住みづらいと思う。通院、買い物にもっと利用しやすくしてほしいです。
- これ以上バスの本数が減るとつらいです
- なくさないで欲しい
- 年金の削減、公共料金の値上げ等で飲食に出かけることもできなくなりました。
- 泊原発事故が発生した場合避難のとき車はないし集合場所まで徒歩で35分くらいかかるのが心配です。
- 障害者や高齢者など買い物の人たちは荷物が重

- い思いをしてタクシーに乗りこみ大変です。
- 車がないためバスを利用しているが行きたい場所までバスが通っていないためバスを降りてから目的の場所まで歩いていくのが大変です。特に雨や雪の日など。吹雪で天気が悪いときはバス時間が遅れて寒い中バス停で立っているのもつらく感じます。
 - バスを利用したいが乗降の際不便を感じていますので年金生活でタクシーの利用は痛手ですが生活するためには仕方ない。(近くに店がない)
 - 夏はいいのですが冬の買い物に不便
 - たくさんの高齢の方と話す機会がありますが病院などに行くのにタクシーを利用したい方は沢山います。ですが今の年金だけでは暮らすのでようやくのためタクシーを利用できないでいるのが現実です。不正生活保護の方が近い病院にすらタクシーで行くのに体調が悪いのにタクシーを利用できない方が沢山います。不平等だなと感じます。
 - バスを降りたとき側にハイヤーが無くて不便(特に冬)

【料金や福祉施策的展開について】

- 病院に行く時、タクシー・バスを利用するので、料金が割安になると良いと思います。
- タクシー代が高い。
- 料金が高い。
- 料金が少し安くなれば。高齢者割引など…。
- 割引券があるとありがたい
- 高齢になったときは補助などがあれば利用しやすい
- タクシーは一定額以上は限度額を決めて定額料金にする。
- 町内均一料金にしてはどう？もしくは割引バスを発行する。
- 大型のエアバスでなく、小型化することにより料金を低減してはどうか。
- ハイヤー・タクシーなどは便利だが、料金が高い。バスは町内が不便。町で何か対策を…。
- 高齢者(年金者)へのバス料金の割引などがあれば助かります。
- 料金が高い。料金が高くなっても安くなることがないが、ガソリン代が高くなり料金が上がるのは分かるがガソリンが下がっても安くならないのはダメだと思う。人数が少ない路線や時間帯は大型ではなく小型、中型のバスにしたほうがよい。
- 高齢者割引がとうれしい
- タクシー料金の値下げ(シェアなどの仕組み、高齢者の優遇)
- 今は自分で運転が出来ますが年をとると公共交通を利用せざるを得ないところもあると思います。老人が利用しやすい(料金も含め)方法を是非ご検討頂きたいと思います。
- 高齢者、障害者など、交通機関を使わざるを得ない方々が利用する際の補助制度を強化した方が良く考える。例) 料金の一部を自治体が負担するなど。
- 福祉バスなどの利用。
- 介護タクシーを増やして欲しい
- 町や国として障害者や老人の交通費(ハイヤー・バス等)を無料に近づけるよう努力し、早急に取り組むことが必要だと思う。
- 家族に障がい者がいるので週3回の通院の送迎をしています。タクシーがもう少し金額的に安くなったらいいなあと思います。(福祉タクシーのようなもの)
- 福祉バスの運行
- 冬期間のスクールバスの導入・運行について検討していただきたいです。(悪天候の中、安全対策の不十分な通学路を歩かせるのが不安です。)
- 足が悪いので小回りのきくタクシーが大変良いが料金が高額。町の補助で低額に。バスは歩かなければならないので不便である。
- 福祉ハイヤータクシー、高齢者で低所得者、回数券発行、円山地区の路線バス廃止については了承します。高原ホテル・グリーンパークの自家バス利用で十分と思われます。札幌バスについて十分満足しています。
- タクシー乗車券など高齢者に対する補助を出して欲しい。バスよりタクシーに対して。

【その他意見】

- 現在運転出来ますので余り不便を感じていませんが、これからは心配です。
- 現在は不便ではありませんが今後は分かりません
- 現在は不便だが実際に利用している人が多いとはいえないので便利にするのは難しいと思う。人口が減少していくのが目に見えている。
- 使いやすさ、便利さの確立により、自然的に利用度がアップする。そのための仕組み作りを間違わないように。
- 近くの商店が閉店してしまい遠くまで買い物に出かけるのが大変!
- バスは酔うのであまり乗りたくない。運転手さんによってかなり違う。
- 乗る人のため回数券(タクシー・バス)の利用も価値あるようにしてほしい。
- もっと公共交通が整っていて使いやすければ自家用車の台数を減らすことができると思う。
- 車に乗れなくなったときは公共交通が大切になると思う
- 歩行できなくなったときのことを考えると買い物は電話で注文とかになると思う。
- 年老いて免許返上時になんら公共料金の半額割引や割引サービスを行うと利用者も増えるかと
- CO2削減や人口減の問題がある。公共交通だけの取り組み方法を考えるのではなく、行政としてまちづくりが大きく関わる。広域より集中。今までのカテゴリの中で行くと行政の負担などによる長続きがしない。
- 行政が主導で充実したものにすると民間が困るような気もするし、むずかしいですね。民間で出来るものならやるのが望ましいが、人口が少なく利用者が少ないのでは・・・
- 現在は自分で運転しているが、先のことは分からない。高齢化社会になってきているので今から準備していく方向性を考えるにはとても良い機会だと思います。

- 現在車を運転しており不便を感じませんが、そろそろやめるときが間近に来ております。腰が悪いので今後タクシーを利用する機会が多いと思います。
- 危険な交差点のチェック手直し！
- 舗装道路（国道・道道・町道）の損傷箇所が多く見られる。（特に春先がひどい）早期の修理を望む。
- 砂利道が多くベビーカーが押せない。必ず道でベビーカーが引っかかって危ない。歩行者の道が悪い所多し。
- ハイヤー・タクシーの運転手さんが親切で、スピードより安全優先、運転マナーを守ってくれたら、お客様も利用すると思います。
- 接客態度を改善すべき。お金をもらっているという意識が低い。
- （タクシー）安全運転者が少ない。目の前が自宅でも料金が上がる？運転が乱暴な人もいる。（アンケートを取っても相手に伝わるかどうか？）
- 長万部行きバスがあっても良い。
- 公共交通（路線バス）網が成立していない。
- タクシー代が大変なので近くに買い物できる店があればよい
- 健康のためにもっと歩きましょう。運賃を上げ、本数を減らし、歩かせたら、通院も面倒になり、健康になるのでは！
- 設問の仕方がわるいのか？明快な回答ができませんでした。
- 自分で運転できるうちは利用しません。
- どこへ行きたくても年金生活なのでがまんする。
- 中央バスの運行について。方法の検討について。札幌市内で「高速いわない号」は、各停留所での地元乗降者の利用が非常に多い。小樽⇄札幌間は、10分位間隔でバスが運行しており、その便を利用しなくても特に不便はないと思われますか！
- 具体的な事項をもっと増やしていただければ！
- JR(鉄道)が欲しい
- このアンケート内容に疑問。(目的が不明瞭)単身であり設問が的をえていない。
- 通院が必要な方のために町内にあと長い間車に乗ってなくてもすむように、町内の病院の診療科を増やしたりとした方がいいと思います。
- 態度が横柄
- 葬儀の時には知人に便乗あるいはハイヤーの相乗り
- 岩内町は観光宣言をしている町です。町民の替りのタクシー、交通機関のサービス及び、自営を増やして欲しい。
- 利用したことがないので意見できません！
- ほとんど走ってない為会社は無理。
- 町外に行かなくてもすむように岩内協会病院のレベルアップ
- 現在買い物は自家用車にて行っているので考えがつかない
- J Rでも通ってれば良いです。
- ナシ。経費(税金)を使ってこのアンケートを行い何に利用するつもりか？！
- 90才近くの私達は少なからず思います。
- 交通が不便の人のために考えてみては？
- 交通に不便な人のことをもっと知って欲しい
- タクシー使うからなにも言うことありません
- 主旨としては、岩内町・共和町圏内が地域の公共交通だと思うので、町外利用はアクセスの為に聞いているのか。

【参考2】アンケート調査票

岩内町の公共交通に関するアンケート調査 ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃より町政に対し特段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この調査は、今後の岩内町におけるバスやハイヤー・タクシーなどの公共交通のあり方を検討するために、町民の方々の「普段の移動交通手段」や「今後の公共交通のあり方に関するお考え」などをお聞きするもので、岩内町に在住する方 2,000 世帯を対象に配布しています。

このアンケート調査は、上記の目的以外に使用することはなく、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、本調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年9月

岩内町地域公共交通活性化協議会

《ご記入にあたって》

①本調査の回答は、普段の生活でバスやハイヤー・タクシーを利用されている方（複数いらっしゃる場合は、最も利用されている方お一人）にお願いします。

普段の生活でバスやハイヤー・タクシーを利用されている方がいらっしゃらない場合は、世帯主の方に回答をお願いします。

②氏名の記入は不要です。

③選択設問については、該当する番号に○を付けてください。また、自由回答欄には、適宜文章をご記入ください。

④ご記入いただきました用紙は、**平成26年10月10日（金）**までに同封の返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函してください。（切手不要）

⑤このアンケートは、岩内町地域公共交通活性化協議会（事務局：岩内町企画経済部企画産業課）が実施していますが、回収および集計作業等は調査委託先である「㈱ドーコン（本社 札幌市）」が行っています。

※このアンケートについてのお問い合わせは、以下をお願いします。

岩内町役場 企画経済部 企画産業課 企画・原子力発電所担当

電話：0135-62-1011（内線293）

問1 あなた自身やご家族などのことについておたずねします。

(1) あなたの性別および年齢は。(性別は1つに○、年齢は枠内にお書きください)

性別 ①男 ②女 年齢 歳

(2) あなたの職業は。(1つに○)

①会社員 ②公務員・団体等職員 ③自営業 ④農林水産業 ⑤高校生
⑥大学・専門学校生等 ⑦専業主婦 ⑧無職 ⑨その他()

(3) あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

①東山 ②大浜 ③万代 ④栄 ⑤高台 ⑥大和
⑦御崎 ⑧清住 ⑨相生 ⑩宮園 ⑪野束 ⑫敷島内

(4) あなたの世帯に自動車の免許を持っている方は何人いらっしゃいますか。(1つに○)

①1人 ②2人 ③3人以上 ④免許を持っている者はいない

(5) あなたの世帯に自動車は何台ありますか。(1つに○)

①自動車はない ②1台 ③2台以上

(6) あなたは普段、自動車を運転しますか。(1つに○)

①運転する ②運転しない

上の問で、「①運転する」と回答した方にお尋ねします。

1) 今後何歳くらいまで、自動車を運転する予定ですか。(枠内にお書きください)

歳 くらいまで

2) 将来あなたが運転できなくなった場合、移動手段はどのようにしますか。

(1つに○)

①バスを利用する ②家族に送迎してもらう
③知人に送迎してもらう ④ハイヤー・タクシーを利用する
⑤その他()

(7) あなたのお住まいから一番近いバス停まで、徒歩で何分ほどですか。(1つに○)

①5分以内 ②5～10分以内 ③10分以上
④近いバス停がどこかわからない

問2 あなたの普段の外出等についておたずねします。

記入例を参考にして、次に示すそれぞれの目的に関し、該当部分に○をつけてください。
 ※「行先」「交通手段」に関して、複数ある場合には、最も頻度の高いものとしてください
 ※該当しない項目については、回答不要です

【記入例】

	ア.出かける回数 (1 つに○)	イ.主な行先 (1 つに○)	ウ.主な交通手段 (各 1 つに○)	
			夏期	冬期
(1) 通勤・通学	①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度 ⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度	①岩内町内 ②共和町 ③倶知安町 ④余市町 ⑤小樽市 ⑥札幌市 ⑦その他	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()

	ア.出かける回数 (1 つに○)	イ.主な行先 (1 つに○)	ウ.主な交通手段 (各 1 つに○)	
			夏期	冬期
(1) 通勤・通学	①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度 ⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度	①岩内町内 ②共和町 ③倶知安町 ④余市町 ⑤小樽市 ⑥札幌市 ⑦その他 ()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()

	ア.出かける回数 (1 つに○)	イ.主な行先 (1 つに○)	ウ.主な交通手段 (各 1 つに○)	
			夏期	冬期
(2) 買物	①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度 ⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度	①岩内町内 ②共和町 ③倶知安町 ④余市町 ⑤小樽市 ⑥札幌市 ⑦その他 ()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()

(3) 通院・治療等	ア.出かける回数 (1 つに○)	イ.主な行先 (1 つに○)	ウ.主な交通手段 (各 1 つに○)	
			夏期	冬期
	①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度 ⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度	①岩内町内 ②共和町 ③倶知安町 ④余市町 ⑤小樽市 ⑥札幌市 ⑦その他 ()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()

(4) 飲食・趣味活動等	ア.出かける回数 (1 つに○)	イ.主な行先 (1 つに○)	ウ.主な交通手段 (各 1 つに○)	
			夏期	冬期
	①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度 ⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度	①岩内町内 ②共和町 ③倶知安町 ④余市町 ⑤小樽市 ⑥札幌市 ⑦その他 ()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③バイク ④バス ⑤ハイヤー・タクシー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等の送迎 ⑧その他()

問3 路線バスやハイヤー・タクシーの利用状況等についておたずねします。

(1) 路線バスについて

1) 利用頻度について (1 つに○)

- ①ほぼ毎日 ②週 2～3 回 ③週 1 回程度 ④月 2～3 回程度
⑤月 1 回程度 ⑥年数回程度 ⑦使わない

2) 主な目的について (1 つに○) ※利用頻度で、「⑦使わない」以外を選択した方

- ①通学 ②通勤 ③買い物 ④通院・治療等 ⑤飲食 ⑥趣味活動等
⑦その他 ()

3) 主な移動先について (1 つに○) ※利用頻度で、「⑦使わない」以外を選択した方

- ①町内の移動(施設名等:) ②町外への移動(市町村名:)

次ページにも設問があります

4) 路線バスについて、不満や改善点があるとすればどのようなものですか(○は3つまで)

- ①行きたい場所を通っていない ②乗りたい時間に運行していない ③本数が少ない
④乗り降りしづらい ⑤バス停の設備が不十分(屋根やベンチが無い等)
⑥料金が高い ⑦その他()

(2) ハイヤー・タクシーについて

1) 利用頻度について(1つに○)

- ①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度
⑤月1回程度 ⑥年数回程度 ⑦使わない

2) 主な目的について(1つに○) ※利用頻度で、「⑦使わない」以外を選択した方

- ①通学 ②通勤 ③買い物 ④通院・治療等 ⑤飲食 ⑥趣味活動等
⑦その他()

3) 主な移動先について(1つに○) ※利用頻度で、「⑦使わない」以外を選択した方

- ①町内の移動(施設名等:) ②町外への移動(市町村名:)

4) ハイヤー・タクシーについて、不満や改善点があるとすればどのようなものですか
(自由にご記入ください:)

問4 岩内町の公共交通の今後のあり方などについておたずねします。

現在、岩内町においては、バスやハイヤー・タクシーの公共交通が運行されており、皆様の移動の足としての役割を担っていますが、利用者の減少などが課題となっています。
このような中、皆様のお考えをお聞かせください。

(1) 高齢化が進行する中、公共交通は大切な移動手段であると考えられますが、今後どのような方向が望ましいと思われますか。(1つに○)

- ①特に不便を感じないため、今のままで十分である
②車を運転しない人にとっては不便なため、もっと便利にした方がよい
③わからない
④その他()

(2) その他、公共交通に関するご意見等がありましたらご記入ください。

ご協力有難うございました。

Ⅲ 交通事業者・関係団体等ヒアリング調査

Ⅲ－１ 交通事業者

(１) バス会社

【利用者数】

- ・ ベースとなる地域の人口が減っていることもあり、利用者は減少傾向にある。
- ・ 利用者は減少傾向にあることは間違いないが、最近その落ち込み方は緩くなり、下げ止まり感があった。しかし４月５月は、消費税のアップによる運賃改定（２．７％以内の幅でアップ）により大きく落ち込んだ。９月、１０月と最近になって、ようやく回復してきた。

【利用状況・運行状況】

- ・ 高速いわない号は、朝は通学・通院の足として使われている。朝の便で小樽・札幌方面へ出て、午後戻ってくる使われ方。
- ・ 岩内円山線は、神恵内線の車両を使用して、ダイヤの合間を使って運行している。今はバス４台で回している。
- ・ 小沢線、雷電線ともに町内の移動ではあまり使われていない。
- ・ 岩内に向かう路線は、岩内高校があるので、高校生が使っている。
- ・ 雷電線は運行を維持するためにギリギリまで減便している。これ以上の減便は、さらなる利用者離れにつながるものであり、路線の合理化等は限界である。しかし雷電線沿線の公共交通は、この雷電線のみであり、公共交通事業者として、この路線はしっかり守っていかなければいけないと考えている。

【今後の公共交通に対する考えなど】

- ・ 例えば岩内円山線は、温泉地区までの運行をやめて、違う循環線の形態とすることも考えられる。
- ・ 行政としてはいろいろ問題があるのかもしれないが、岩内協会病院、ラッキー、ホームック、マックスバリュ、ツルハ、しまむら等の商業施設といった住民のニーズが高いと思われる施設を結ぶ路線などが考えられる。
- ・ なお、岩内円山線の変更は、神恵内線のダイヤにも影響を与えるので、双方の路線を考慮しなければならない。
- ・ 循環線としての運行は、双方向の循環は経費的にも厳しいが、一方通行であれば、可能性は十分あると思われる。

- ・路線の変更については、利便性を高めること自体は問題ではないが、その分利用者が増えていかないとバス事業者としては厳しい。
- ・また、岩内町だけではなく、共和町とも一体で考えてくれれば、デマンドバス※などのニーズはあるのではないかと考えている。
- ・デマンドバス※の運行については実績があり、実証運行なども含めて、いろいろ協力は惜しまない。
- ・岩内町では、一部共和町も含めて、循環型のデマンドバス※を考えてもいいのではないかと思う。

※利用者の予約により運行するバス。運行路線を柔軟に設定することで、利用者の自宅近くに迎えに行くといったことも可能。

（２）ハイヤー・タクシー会社

【利用者数の推移】

- ・町と取り巻く社会・経済状況を反映して、外出する回数が減少していることもあり、近年は減少傾向にある。

【主な利用者層】

- ・平日の朝は、高齢者の通院が多く、10時頃からは買物で利用する高齢者や主婦層が多い。
- ・平日の午後は、通院帰りや買物が多い。
- ・総じて、日中は高齢者の方の利用が多い状況である。市街地内の利用は500～600円台と安いため、高齢者の方で毎日使う方も多くいる。かなりの近距離でもハイヤー・タクシーが使われている。
- ・日常的な身近な交通手段としてハイヤー・タクシーが町民に定着している。乗る回数が多いが単価が安いのが岩内の特徴である。
- ・泊発電所関連の利用も多い。
- ・夜間は、ハイヤー・タクシーを利用する方が多い。
- ・ジャンボタクシーは観光利用もみられる。

【今後の公共交通に対する考えなど】

- ・運行に関する固定費が上がっているが、料金が上げられない状況である。
- ・特に高齢者にとっては、ドア・ツー・ドア、小回りが利く移動手段としてハイヤー・タクシーは便利である。
- ・大きなバスではなく、小さい車両で頻度を多くこまめに対応していくのが重要である。
- ・バスは運行路線が限られていることもあるため、身近な移動の足としてタクシーに対する助成が必要。

Ⅲ－２ 関係団体等

（１）岩内町社会福祉協議会

【高齢者の方の普段の移動手段等について】

- ・ 高齢者の外出の目的は、買物と通院が多い。
- ・ 自家用車を持っている方は、通常は車を利用している。
- ・ 自家用車を持たない方は、通常、路線バスよりもタクシーの利用が多いようだ。
- ・ 高齢になっても自分で車を運転している方がいるので、気がかりである。
- ・ 車が無い方は、岩内協会病院への通院も歩いて行っているようだ。
- ・ 役場に行くにも公共交通が無く不便である。

【今後の公共交通に対する考えなど】

- ・ 今のバス路線から離れた所に住む方が移動するための交通手段があれば良い。
- ・ 市街地を循環するバスがあれば良い。また、タクシー助成もあれば良いと思われる。

（２）岩内町老人クラブ連合会

【高齢者の方の普段の移動手段等について】

- ・ 自家用車を持っている方は、通常は自家用車で移動している。
- ・ 自転車交通手段のメインとして移動している方は、冬季間も自転車を利用している方もいる。
- ・ 老人クラブの行事については、老人福祉センターまでの移送サービスがある月曜日と木曜日に、できるだけあわせて実施している。また、老人移送サービスの乗車箇所以外の方から、近くを通って欲しいという意見を聞く。
- ・ 通院については、岩内協会病院に行く方が多い。
- ・ 倶知安や小樽など町外の病院に通院している方もおり、路線バスを利用しているようだ。
- ・ 町内移動ではタクシーがよく使われているようだ。買物・通院の際にもタクシーが利用されている。

【今後の公共交通に対する考えなど】

- ・ ジャンボタクシーや小型バスの利用などにより、市街地を循環する公共交通を考えてはどうか。

(3) ホテルグリーンパークいわない

【送迎バスの運行について】

- ・ホテルがメンテナンスのために休館する4日間を除いて毎日運行している。バスは29人乗り。
- ・バス停を定めて、そこ以外では乗降しないようにしている。路線バスと競合しないように路線を設定、公営住宅を中心に運行している。
- ・このほかに団体客の送迎などもやっているの、送迎バスの運行はこれで精いっぱい。
- ・送迎バスがあるとないとでは集客面でだいぶ違う。札幌あたりからお客さんを連れてこないといけない状況。

【利用状況、施設へのアクセスについて】

- ・秋から冬、春にかけて利用が若干増える。5月～10月ぐらいはいろいろ忙しいのかやや少ない。
- ・利用は多いときで1日30人（1便だと20人ぐらい）。まったく乗らない日というのは年に数日あるかどうか。台風などのときなどは乗車は極端に減るが、少なくとも1便5～6人は乗っている。
- ・利用者は圧倒的に年配の女性の方が多い。
- ・ホテルへのアクセスは車がほとんど。朝いちばんの円山線に来て、11時頃の円山線で帰る人はいる。あるいは朝の送迎バスに来て、帰りは路線バスというパターンもある。

【夜の送迎バス運行】

- ・2年ぐらい前に岩内町から銭湯がなくなった。まだ町内には風呂のない公営住宅もあるので、それ以来火・木・土の夜にもバスを回している。以前は岩内円山線が5時前後に着いて、6時ぐらいに帰る便があったが、減便でなくなってしまった。
- ・夜6時過ぎに運行、毎回5～8人ぐらい、ほぼ決まった顔ぶれの方が利用している。

IV 町内路線バスの乗降者数等調査

IV－1 乗降者数等調査

(1) 乗降者数調査の概要

岩内バスターミナルを発着する各路線バスに調査員が同乗し、市街地を中心にバス停間の乗降実態・移動実態を調査し、バス移動のOD（起終点）を把握する。

調査は、夏季、冬季の各1日実施した。

夏季調査：平成26年10月2日（木）

冬季調査：平成27年1月22日（木）

調査路線：小沢線、雷電線、神恵内線、岩内円山線、高速いわない号
上記路線全便を対象に調査



(2) 乗降者数調査結果

①小沢線 (1日9往復)

倶知安行き (夏季)

乗車バス停	降車バス停							合計
		岩内ターミナル	岩内十字街	壁坂十字街	東山	老古美(町外)	町外	
	岩内ターミナル				1	1	35	
	岩内十字街					1	4	
	壁坂十字街					1	2	
	東山						10	
	老古美(町外)						3	
	町外							
	合計				1	3	54	

町内での移動

倶知安行き (冬季)

乗車バス停	降車バス停							合計
		岩内ターミナル	岩内十字街	壁坂十字街	東山	老古美(町外)	町外	
	岩内ターミナル				1	1	52	
	岩内十字街					1	9	
	壁坂十字街						1	
	東山						13	
	老古美(町外)							
	町外							
	合計				1	2	75	

町内での移動

岩内ターミナル行き (夏季)

乗車バス停	降車バス停							合計
		町外	老古美(町外)	東山	壁坂十字街	岩内十字街	岩内ターミナル	
	町外		7	11	4	22	19	
	老古美(町外)				2	1		
	東山					2		
	壁坂十字街							
	岩内十字街							
	岩内ターミナル							
	合計		7	11	6	25	19	

町内での移動

岩内ターミナル行き (冬季)

乗車バス停	降車バス停							合計
		町外	老古美(町外)	東山	壁坂十字街	岩内十字街	岩内ターミナル	
	町外			17	4	31	30	
	老古美(町外)				1	2		
	東山					1		
	壁坂十字街							
	岩内十字街							
	岩内ターミナル							
	合計			17	5	34	30	

町内での移動

②雷電線（1日6往復）

寿都行き（夏季）

降車バス停		岩内ターミナル	岩内十字街	神社通	中央通	郷土博物館	権太町通り	野束	島野郵便局	坂の上	七部落	八千代の沢	ニチナイ橋	八部落	敷島内	ウエンドマリ	雷電温泉入口	雷電温泉郷	町外	合計
乗車バス停	岩内ターミナル							1				1							11	13
	岩内十字街					1			1											2
	神社通								1											1
	中央通										1								3	4
	郷土博物館																			
	権太町通り																			
	野束																			
	島野郵便局																			
	坂の上																			
	七部落																			
	八千代の沢																			
	ニチナイ橋																			
	八部落																			
	敷島内																			
	ウエンドマリ																			
	雷電温泉入口																			
	雷電温泉郷																			
	町外																			
	合計					1		1	2		1	1							14	20

町内での移動

寿都行き（冬季）

降車バス停		岩内ターミナル	岩内十字街	神社通	中央通	郷土博物館	権太町通り	野束	島野郵便局	坂の上	七部落	八千代の沢	ニチナイ橋	八部落	敷島内	ウエンドマリ	雷電温泉入口	雷電温泉郷	町外	合計
乗車バス停	岩内ターミナル							1	1			1							16	19
	岩内十字街								1										1	2
	神社通																			
	中央通						1													1
	郷土博物館																			
	権太町通り																		2	2
	野束																			
	島野郵便局																			
	坂の上																			
	七部落																			
	八千代の沢																			
	ニチナイ橋																			
	八部落																			
	敷島内																			
	ウエンドマリ																			
	雷電温泉入口																			
	雷電温泉郷																			
	町外																			
	合計						1	1	2			1							19	24

町内での移動

岩内ターミナル行き（夏季）

降車バス停		町	雷電温泉郷	雷電温泉入口	ウエンドマリ	敷島内	八部落	ニチナイ橋	八千代の沢	七部落	坂の上	島野郵便局	野東	権太町通り	郷土博物館	中央通	神社通	岩内十字街	岩内ターミナル	合計
		外	郷	口	リ	内	落	橋	沢	落	上	局	東	り	館	通	通	街	ル	
乗車バス停	町外															2		1	13	16
	雷電温泉郷																			
	雷電温泉入口																			
	ウエンドマリ																			
	敷島内																			
	八部落																			
	ニチナイ橋																			
	八千代の沢															1				1
	七部落																		1	1
	坂の上																			
	島野郵便局																			
	野東																		1	1
	権太町通り																			
	郷土博物館																	1		1
	中央通																			
	神社通																			
	岩内十字街																			
	岩内ターミナル																			
合計																3		2	15	20

町内での移動

岩内ターミナル行き（冬季）

降車バス停		町	雷電温泉郷	雷電温泉入口	ウエンドマリ	敷島内	八部落	ニチナイ橋	八千代の沢	七部落	坂の上	島野郵便局	野東	権太町通り	郷土博物館	中央通	神社通	岩内十字街	岩内ターミナル	合計
		外	郷	口	リ	内	落	橋	沢	落	上	局	東	り	館	通	通	街	ル	
乗車バス停	町外													2		1		5	13	21
	雷電温泉郷																			
	雷電温泉入口																			
	ウエンドマリ																			
	敷島内																			
	八部落																			
	ニチナイ橋																			
	八千代の沢															1			1	2
	七部落																			
	坂の上																			
	島野郵便局																1			1
	野東																1	2		3
	権太町通り																	1		1
	郷土博物館																			
	中央通																			
	神社通																			
	岩内十字街																			
	岩内ターミナル																			
合計														2		2	2	8	14	28

町内での移動

③神恵内線（1日12往復）

神恵内行き（夏季）

降車バス停								
乗車バス停		岩内ターミナル	岩内十字街	壁坂十字街	大浜	変電所前	町外	合計
	岩内ターミナル						77	77
	岩内十字街						20	20
	壁坂十字街						7	7
	大浜						3	3
	変電所前						1	1
	町外							
	合計						108	108

町内での移動

神恵内行き（冬季）

降車バス停								
乗車バス停		岩内ターミナル	岩内十字街	壁坂十字街	大浜	変電所前	町外	合計
	岩内ターミナル					1	57	58
	岩内十字街				1		12	13
	壁坂十字街						3	3
	大浜						2	2
	変電所前							
	町外							
	合計				1	1	74	76

町内での移動

岩内ターミナル行き（夏季）

降車バス停								
乗車バス停		町外	変電所前	大浜	壁坂十字街	岩内十字街	岩内ターミナル	合計
	町外		2	8	7	49	28	94
	変電所前							
	大浜							
	壁坂十字街							
	岩内十字街							
	岩内ターミナル							
	合計		2	8	7	49	28	94

町内での移動

岩内ターミナル行き（冬季）

降車バス停								
乗車バス停		町外	変電所前	大浜	壁坂十字街	岩内十字街	岩内ターミナル	合計
	町外			9	2	52	21	84
	変電所前					1		1
	大浜							
	壁坂十字街							
	岩内十字街							
	岩内ターミナル							
	合計			9	2	53	21	85

町内での移動

④岩内円山線（全て町内移動）（1日4循環）

さんさんの湯行き（夏季）

降車バス停		岩内ターミナル	神社通	中央通	ハローワーク前	東相生団地入口	相生タウン	岩内第二中学校前	老人ホーム前	円山弓道場	パークゴルフ場	森林公園入口	いわない温泉郷	荒井記念美術館前	岩内スキー場	岩内オートキャンプ場	グリーンパークいわない	さんさんの湯	合計
乗車バス停	岩内ターミナル				2			2	1	2							4		11
	神社通								2										2
	中央通																2		2
	ハローワーク前																1		1
	東相生団地入口																4		4
	相生タウン																		
	岩内第二中学校前																		
	老人ホーム前																		
	円山弓道場																		
	パークゴルフ場																		
	森林公園入口																		
	いわない温泉郷																		
	荒井記念美術館前																		
	岩内スキー場																		
	岩内オートキャンプ場																		
	グリーンパークいわない																		
	さんさんの湯																		
合計					2			2	3	2							11		20

町内での移動

さんさんの湯行き（冬季）

降車バス停		岩内ターミナル	神社通	中央通	ハローワーク前	東相生団地入口	相生タウン	岩内第二中学校前	老人ホーム前	円山弓道場	パークゴルフ場	森林公園入口	いわない温泉郷	荒井記念美術館前	岩内スキー場	岩内オートキャンプ場	グリーンパークいわない	さんさんの湯	合計
乗車バス停	岩内ターミナル						1	2	1								4		8
	神社通						2												2
	中央通																4		4
	ハローワーク前														1				1
	東相生団地入口												1				1		2
	相生タウン																1		1
	岩内第二中学校前																1		1
	老人ホーム前																		
	円山弓道場																		
	パークゴルフ場																		
	森林公園入口																		
	いわない温泉郷																		
	荒井記念美術館前																		
	岩内スキー場																		
	岩内オートキャンプ場																		
	グリーンパークいわない																		
	さんさんの湯																		
合計							3	2	1				1		1		11		19

町内での移動

岩内ターミナル行き（夏季）

降車バス停		さん	グリーン	岩内	岩内	荒井	いわ	森	パ	円	老	岩	相	東	ハ	中	神	岩	合計
		さん	パーク	オート	内ス	井記	ない	林公	ーク	山	人	内第	生	相生	ロー	央	社	内タ	
		の湯	いわ	キャンプ	スキー	念美	温泉	園入	ゴルフ	弓道	ホーム	第二	タウ	団地	ワーク	通	通	ミナ	
乗車バス停	さんさんの湯																		
	グリーンパークいわない										1			3		2	1	3	10
	岩内オートキャンプ場																		
	岩内スキー場																		
	荒井記念美術館前																		
	いわない温泉郷																		
	森林公園入口																		
	パークゴルフ場																		
	円山弓道場													1			2		3
	老人ホーム前															2			2
	岩内第二中学校前																		
	相生タウン																		
	東相生団地入口																2		2
	ハローワーク前																1		1
	中央通																		
	神社通																		
	岩内ターミナル																		
	合計										1			4		4	6	3	18

町内での移動

岩内ターミナル行き（冬季）

降車バス停		さん	グリーン	岩内	岩内	荒井	いわ	森	パ	円	老	岩	相	東	ハ	中	神	岩	合計
		さん	パーク	オート	内ス	井記	ない	林公	ーク	山	人	内第	生	相生	ロー	央	社	内タ	
		の湯	いわ	キャンプ	スキー	念美	温泉	園入	ゴルフ	弓道	ホーム	第二	タウ	団地	ワーク	通	通	ミナ	
乗車バス停	さんさんの湯																		
	グリーンパークいわない											1	1	1	1	3	4	2	13
	岩内オートキャンプ場																		
	岩内スキー場																		
	荒井記念美術館前																		
	いわない温泉郷																		
	森林公園入口																		
	パークゴルフ場																		
	円山弓道場																1		1
	老人ホーム前																		
	岩内第二中学校前															2	1		3
	相生タウン																3	1	4
	東相生団地入口															1	1	3	5
	ハローワーク前																		
	中央通																		
	神社通																		
	岩内ターミナル																		
	合計											1	1	1	1	6	10	6	26

町内での移動

⑤高速いわない号（1日16往復）

（夏季） 札幌行き

降車バス停		岩内ターミナル	東山	老古美（町外）	町外	合計
乗車バス停	岩内ターミナル		3	8	198	209
	東山				14	14
	老古美（町外）				9	9
	町外					
	合計		3	8	221	232

町内での移動

岩内ターミナル行き

降車バス停		岩内ターミナル	東山	老古美（町外）	町外	合計
乗車バス停	岩内ターミナル		5	11	190	206
	東山					
	老古美（町外）				10	10
	町外					
	合計		5	11	200	216

町内での移動

（冬季） 札幌行き

降車バス停		町外	老古美（町外）	東山	岩内ターミナル	合計
乗車バス停	町外		18	23	192	233
	老古美（町外）				3	3
	東山				1	1
	岩内ターミナル					
	合計		18	23	196	237

町内での移動

岩内ターミナル行き

降車バス停		町外	老古美（町外）	東山	岩内ターミナル	合計
乗車バス停	町外		13	22	141	176
	老古美（町外）				5	5
	東山				1	1
	岩内ターミナル					
	合計		13	22	147	182

町内での移動

Ⅳ－２ バス利用者インタビュー調査

（１）インタビュー調査の概要

岩内バスターミナルにて、バス利用者に対しインタビュー調査を行い、利用者像や利用形態、今後の要望等を把握する。

調査は、夏季、冬季の各１日実施した。

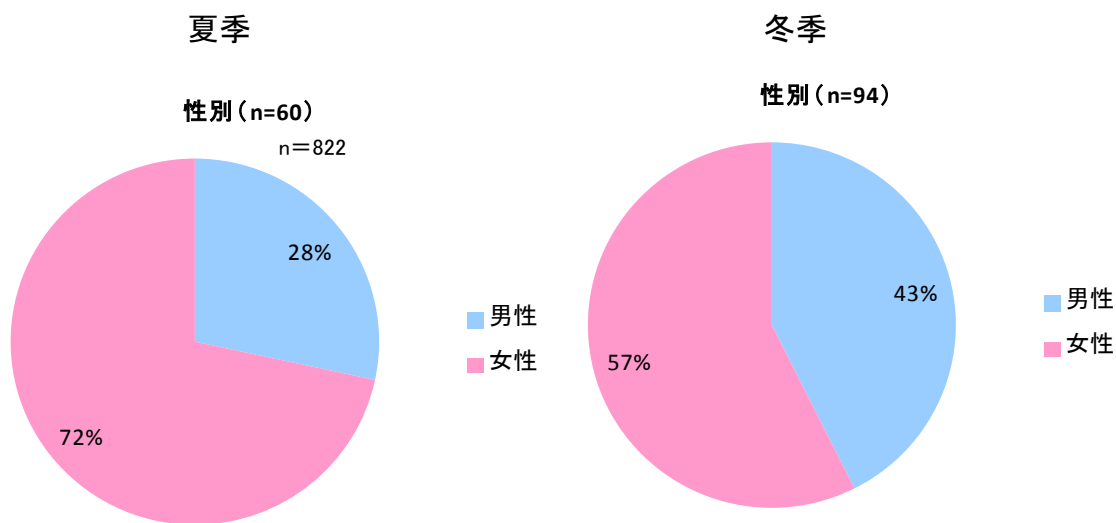
夏季調査：平成26年10月２日（木） サンプル数60人

冬季調査：平成27年１月22日（木） サンプル数94人

（２）インタビュー調査結果

①性別・年代

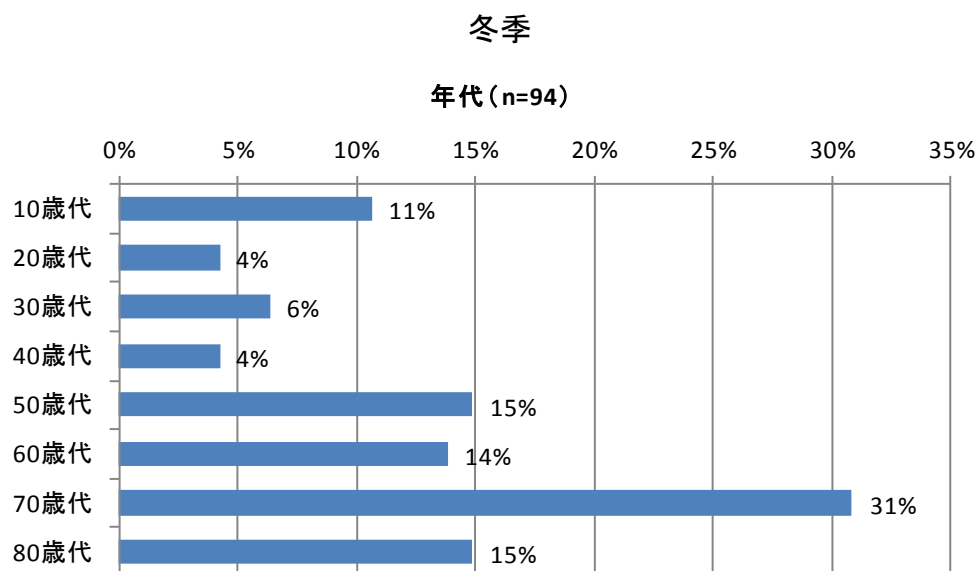
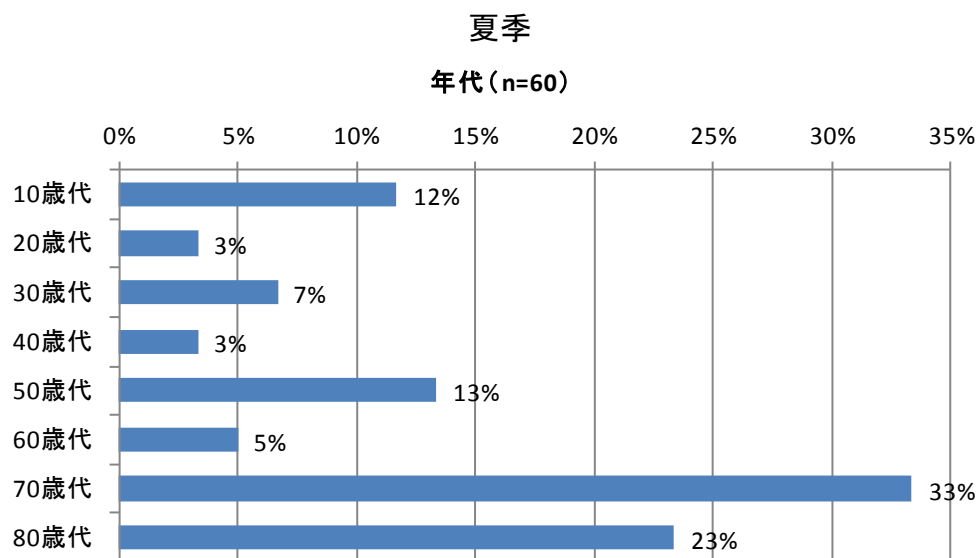
性別は、女性が夏季７割、冬季６割程度と、女性が多い。



※四捨五入の関係で、グラフ中の構成比を合計しても100%にならない場合がある。

※グラフには四捨五入値ではなく、構成比の正確な値を反映させている。例えば6.6%と7.4%は四捨五入されると7%と表記されるが、グラフにはこの差が反映されているため、同じパーセンテージでも棒グラフの長さが違う場合がある。以降同様。

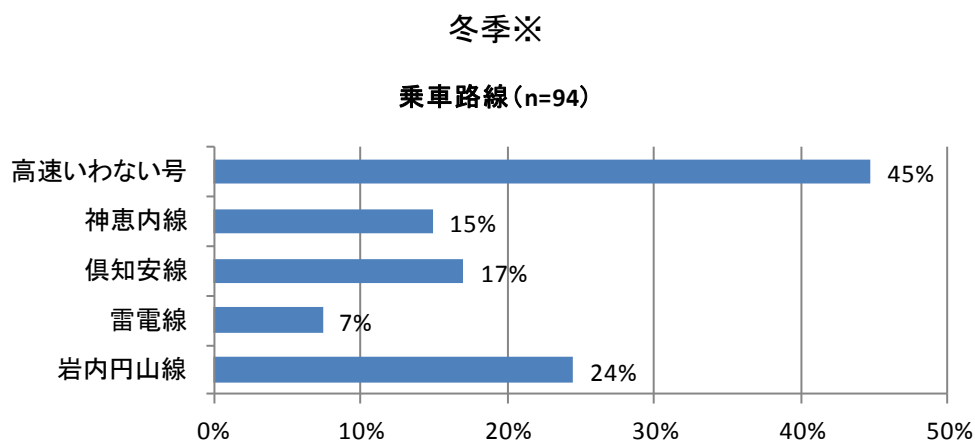
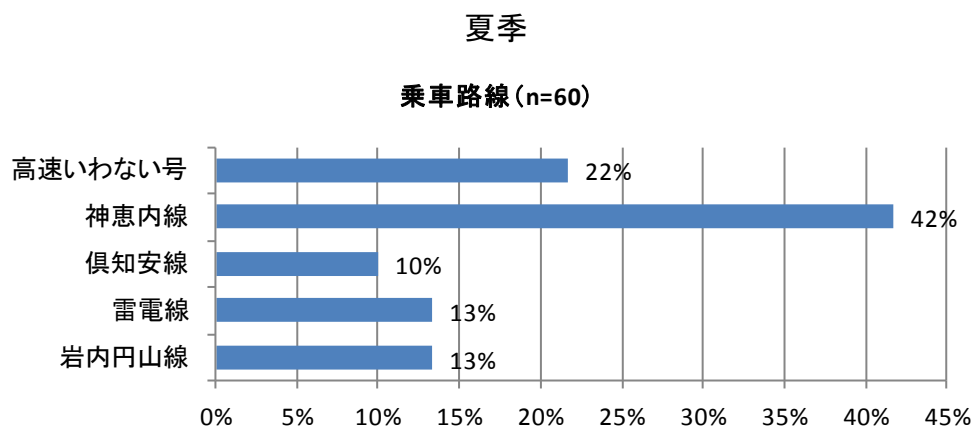
年代は夏季・冬季とも「70歳代」がもっとも多い。「10歳代」は高校生と考えられ、20～40歳代の利用が少なく、50歳以上が多い。



②乗車路線

調査当日に乗車していた路線は、夏季は「神恵内線」がもっとも多く42%、次いで「高速いわない号」が22%であった。

冬季は「高速いわない号」が45%、次いで「岩内円山線」が24%であった。

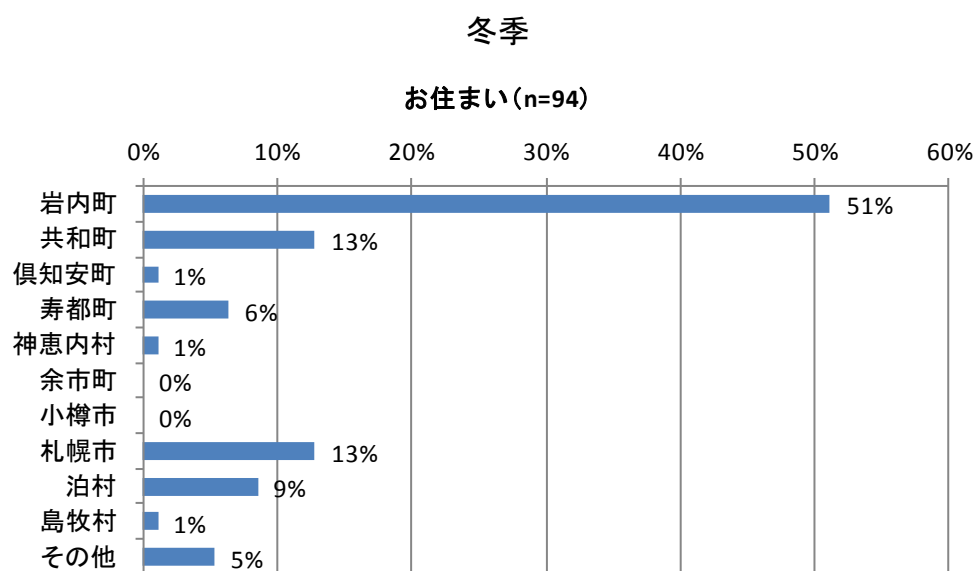
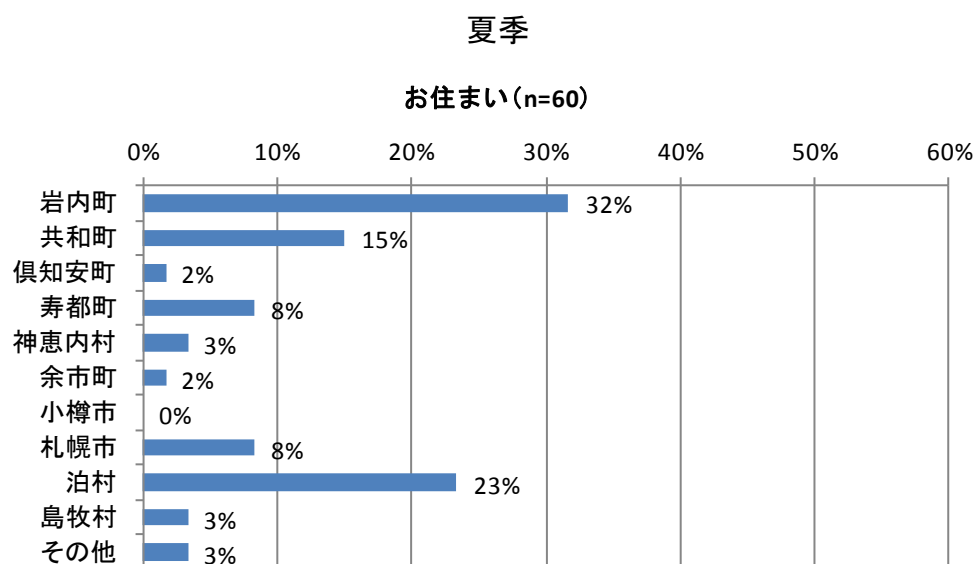


※乗換で複数路線利用も想定されることから、冬季は複数回答とした。このため、グラフ中の構成比の合計は100%を超える。

③住まい

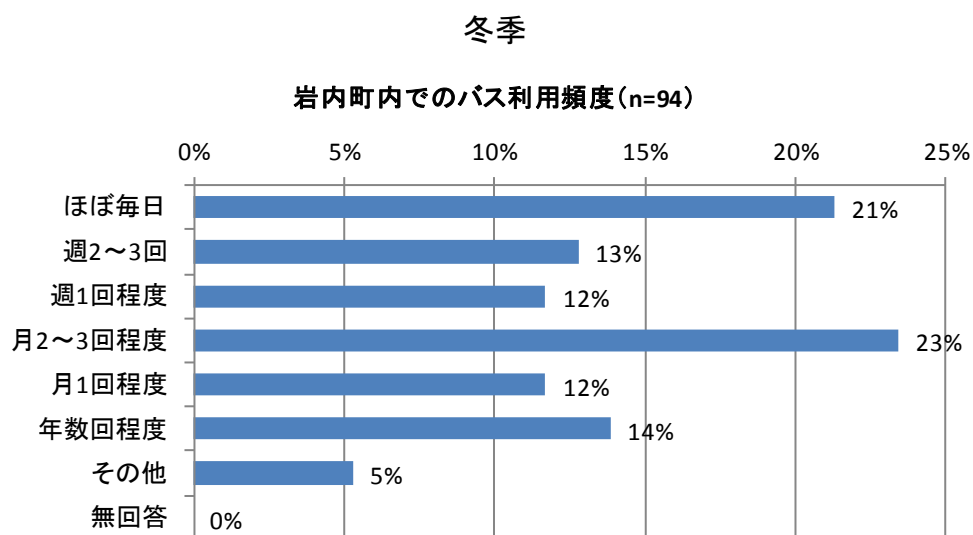
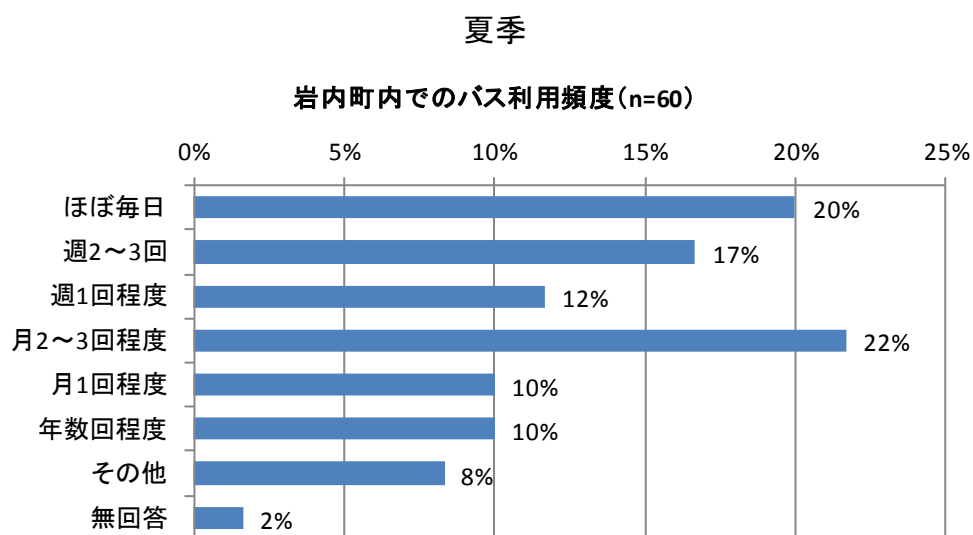
住まいは、夏季は「岩内町」がもっとも多く32%、次いで「泊村」が23%、「共和町」が15%であった。

冬季は「岩内町」がもっとも多く51%、次いで「共和町」と「札幌市」が13%であった。



④バスの利用頻度

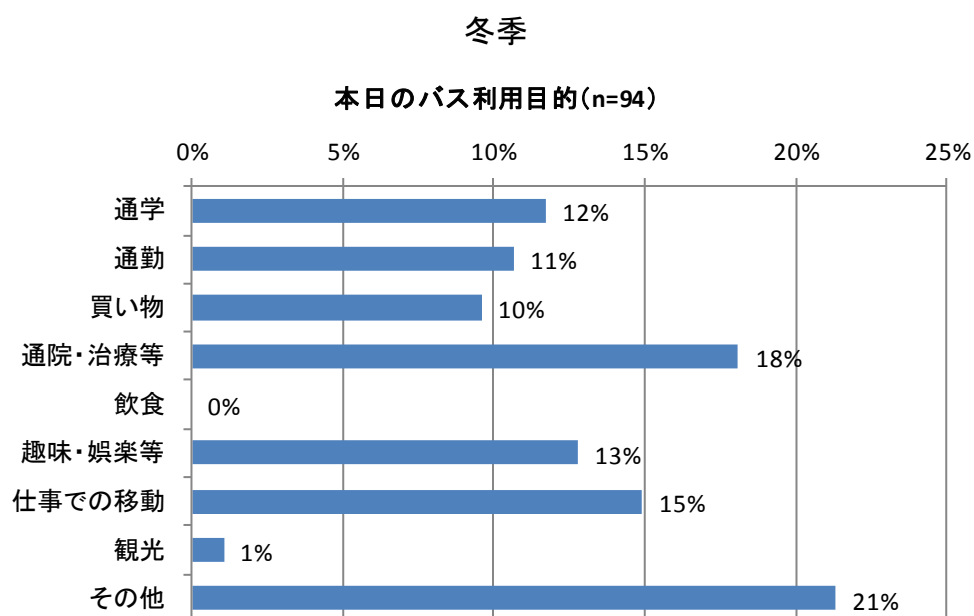
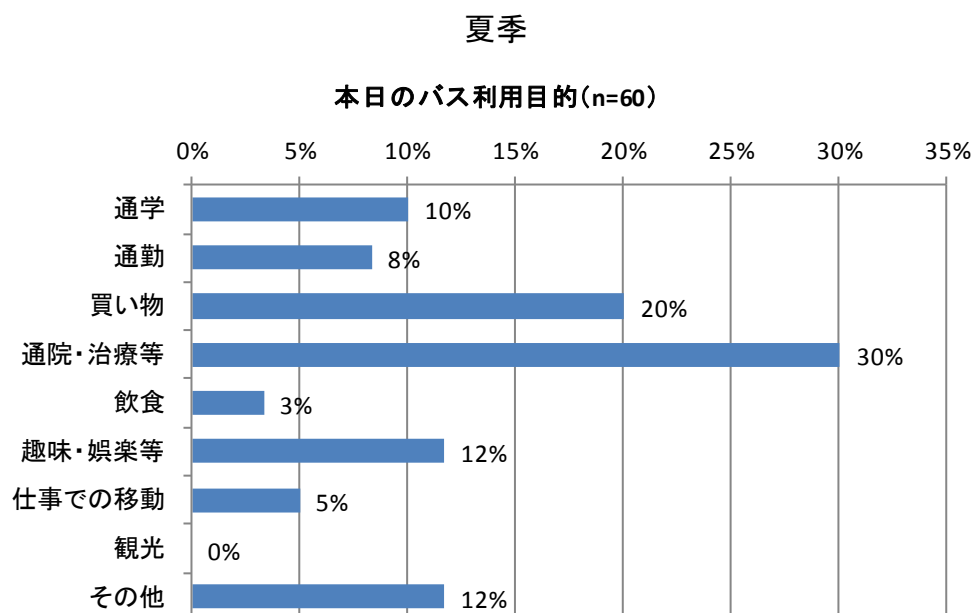
バスターミナルを利用している方々のバスの利用頻度についてみると、夏季・冬季とも傾向はほぼ同じで、「月2～3回」がもっとも多く、次いで「ほぼ毎日」、「週2～3回」の順となっており、日常的にバスを利用されている方の利用頻度は比較的高い。



⑤バスの利用目的

調査当日乗車したバスの利用目的としては夏季は「通院・治療等」がもっとも多く30%、次いで「買物」が20%であった。

冬季は「その他」が21%ともっとも多く、具体的な内容はお見舞いや不幸事、帰省等があげられている。次いで「通院・治療等」が18%であった。



⑥目的地

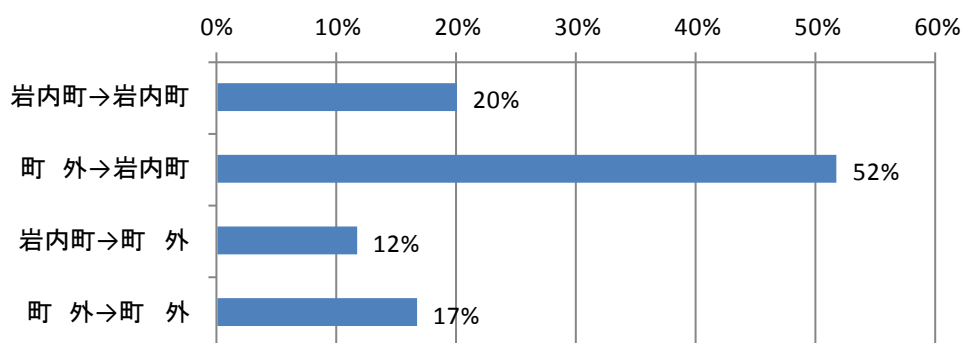
調査当日乗車したバスの目的地と住まいの関係を以下の通り整理した。

夏季は「町外」から「岩内町」を目的とする方がもっとも多く52%、次いで「岩内町」から「岩内町」を目的地とする方が20%となっている。

冬季も「町外」から「岩内町」を目的とする方がもっとも多く32%、次いで「岩内町」から「岩内町」、「岩内町」から「町外」を目的地とする方が同数で26%となっている。

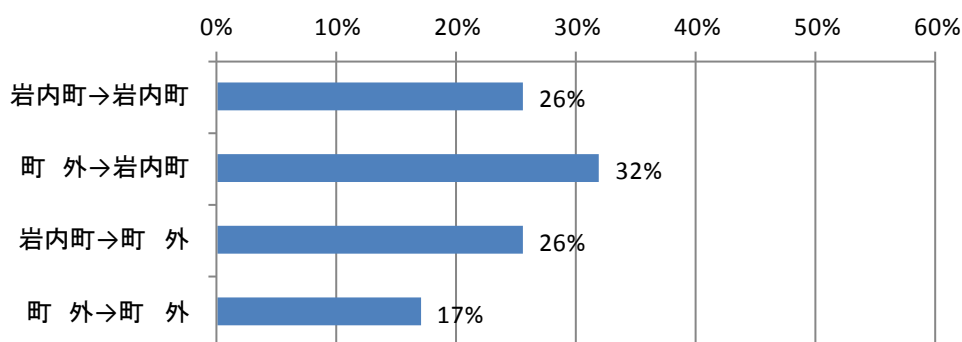
夏季

住まい	目的地	回答数	構成比
岩内町	岩内町	12	20%
町 外	岩内町	31	52%
岩内町	町 外	7	12%
町 外	町 外	10	17%
		60	100%



冬季

住まい	目的地	回答数	構成比
岩内町	岩内町	24	26%
町 外	岩内町	30	32%
岩内町	町 外	24	26%
町 外	町 外	16	17%
		94	100%

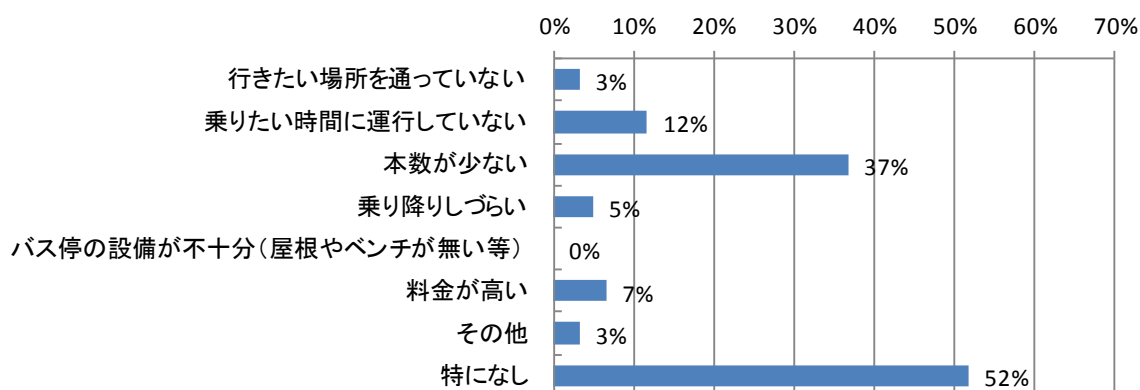


⑦路線バスの不満や改善点（複数回答）

路線バスの不満や改善点は、夏季、冬季とも「特になし」がもっとも多い。次いで多かったのは、夏季は「本数が少ない」が37%、冬季は「乗りたい時間に運行していない」が14%、「本数が少ない」が13%であった。

夏季

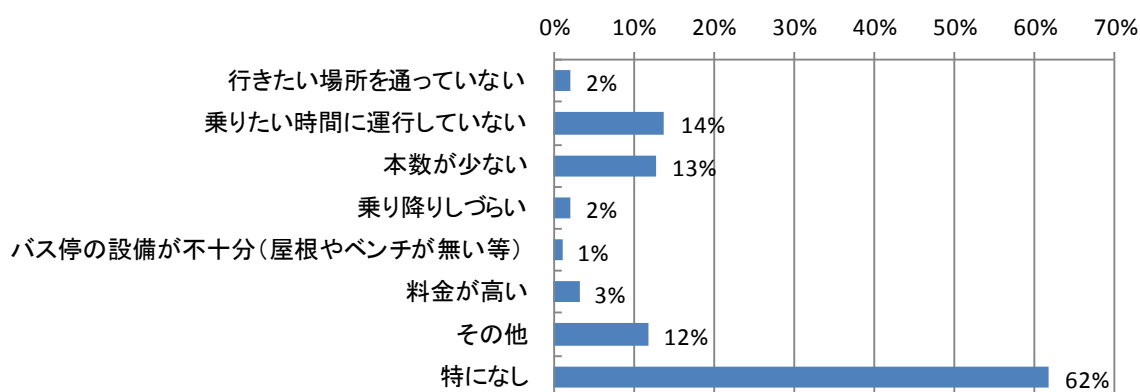
路線バスの不満・改善点(n=60)



※複数回答のため、構成比の合計は100%を超える。

冬季

路線バスの不満・改善点(n=94)



※複数回答のため、構成比の合計は100%を超える。

⑧自由意見

【夏季】

(小沢線利用者)

- ・ 小型化（学生が乗らない時間帯）、倶知安の100円バスみたいなものを。
- ・ 朝のバスが増えて欲しい。

(神恵内線利用者)

- ・ 朝晩は、多くても良いけれど、日中は少ない方が良いのでは？
- ・ バスの乗り降りの際に、縁石に近付けて止めてほしい。
- ・ 共和町発足方面のバス停があると嬉しい（前にあった。）
- ・ 岩内行きが少ない。
- ・ 共和町の宮丘方面の路線、お墓参りに行く時に利用できる路線を。
- ・ 13：23 発足郵便局発乗車→サークルへ、15時位に解散するけれど、15時台の本数が無い。サークルの帰りに、ちょうど良いバスが無くて、困っている。
- ・ 19時、21時台のバスがあると嬉しい。
- ・ 神恵内村珊内行きが少ない。日中の便を増やして欲しい。5時間位、待ち時間があるので、タクシーを使ったら万単位になってしまった。
- ・ 岩内協会病院近くにバス停があると良い。
- ・ 午前10時台の本数
- ・ 思っていたより便利です。（最近、引越をしてきた）
- ・ 15時、16時台のバス→神恵内まで行って欲しい。

(高速いわない号利用者)

- ・ 大浜方面にバスが走ると、嬉しい。

【冬季】

(岩内円山線利用者)

- ・バスの階段が高いのを改善して欲しい。
- ・グリーンパーク行きの本数を多くして欲しい。

(雷電線利用者)

- ・朝のバスを増やして欲しい。用事が長くなってしまうと(病院の混み具合等)1本乗れないと次がない。
- ・高速バスからの接続を良くして欲しい。冬で遅れるとターミナルでの待ち時間は短くなるけど、夏場は長く待つことになる。
- ・1時間に1本あるので、前倒しで帰れてよかった。

(小沢線利用者)

- ・喫茶店にバス停があれば良い。
- ・倶知安行きの往復がない。雪山が高くて、待っているのを見過ごされたりした時、本数が少ないと大変。
- ・12:00と15:00の間にもう1本欲しい。バス停がボウリング場のほうにあると嬉しい。
- ・12時台が13時になると用事を済ませやすい。
- ・19時台のバスがもう1本あると便利。

(神恵内線利用者)

- ・10時台のバスがあると便利。
- ・19時台のバスがあれば便利。
- ・9:30の次が11:55なので、間にもう1本欲しい。
- ・19時台のバスがもう1本あると便利。

(高速いわない号利用者)

- ・千歳直行便があるといい。
- ・中央バスの札幌ターミナル(大通東1)行きもあると嬉しい。
- ・8時台の便が欲しい。
- ・新幹線開通後の時間の関係、アクセス(倶知安行き)
- ・札幌では往復チケットが買えなかったもので、バス内でチケットが買えると便利。
- ・朝・夕を多めにして欲しい。
- ・札幌→岩内 20分遅れるのが困る。
- ・小樽からの接続時間をスムーズにしてほしい。
- ・たまにルートを間違えるときがあつて遅れることがあつた。遅れるときのアナウンスがあるとありがたい。

V 地域公共交通の活性化に向けた課題の整理

V-1 岩内町における公共交通の特性

岩内町を運行している路線バスは現在5路線運行されており、すべて岩内バスターミナルを起終点としている。4路線は他市町村とを結ぶバス路線であり、町内だけで完結する路線は1路線のみである。

他市町村と結ぶバス路線は、市町村間をネットワークすることが大きな目的としており、基本的に国道をルートとしてバスターミナルに入る経路となっている。このため、バス停留所は国道沿道にしかなく、面的に市街地をカバーするような路線とは言い難い。本年度実施した乗降調査の結果を見ると、これらの路線は町内での移動のためには、ほとんど利用されていない。

また町内路線である岩内円山線は、バスターミナルと郊外のレクリエーションゾーンである円山地区を結ぶ路線であり、町内の主要な施設をネットワークするといった路線とはなっていない。

岩内協会病院、大型商業施設、役場（移転後）、郵便局などが立地する道道66号岩内洞爺線や町道八幡通を通るバス路線がなく、住民アンケート調査においても、町内を面的にネットワークする公共交通の要望意見が多くあげられている。

図 岩内町を運行する路線バス概要

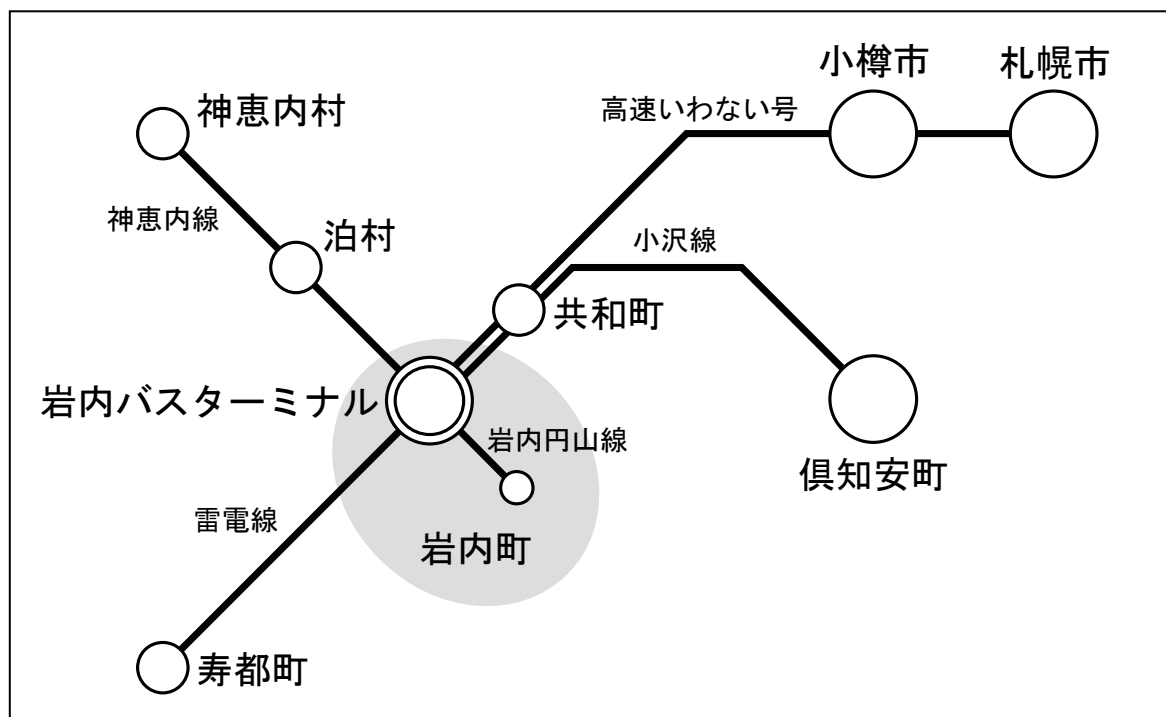


表 岩内町を運行する路線バス概要

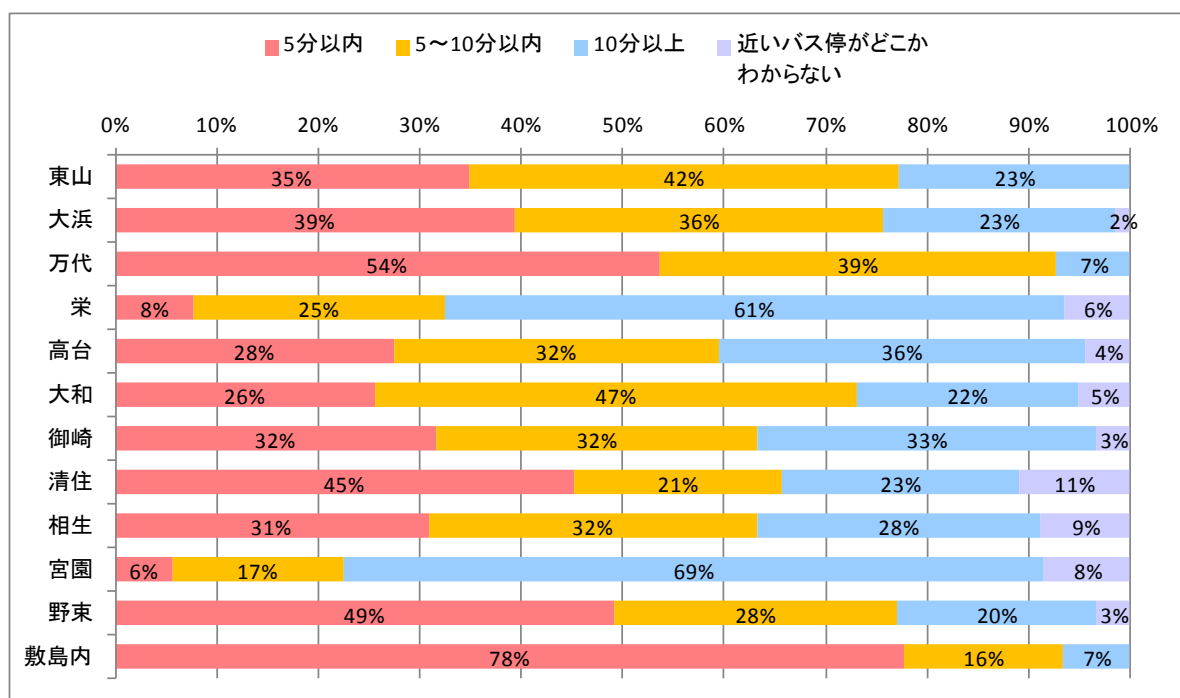
区分	名称等	ルート等	頻度等	備 考
広域路線	高速いわない号	岩内 ～共和・小樽・札幌	16往復/日	北海道中央バス
	神恵内線	岩内 ～泊・神恵内	12往復/日	北海道中央バス
	雷電線	岩内 ～寿都	6往復/日	ニセコバス
	小沢線	岩内 ～共和・倶知安	9往復/日	ニセコバス
町内路線	岩内円山線	岩内バスターミナル ～円山方面	4循環/日	北海道中央バス

※平成26年夏ダイヤ（平日）

岩内町の地域特性としてコンパクトな市街地であることがあげられる。住民アンケート調査結果を見ると、一番近いバス停までの所要時間は「10分以内」が60%を超えている。しかし町内を面的にカバーするバス路線がないこともあり、地区別では一番近いバス停まで「10分以上」がそれぞれ70%や64%に上る地区もあるなど、地区によって路線バスの利便性に大きな差がある。

また、コンパクトな市街地であることから目的地までの移動距離が短く、タクシーによる移動が多いのも、岩内町の特徴と言える。

図 地区別 一番近いバス停までの所要時間（徒歩）



V-2 地域公共交通の活性化に向けた課題の整理

岩内町の公共交通の現状、特性及びニーズ調査結果を踏まえ、岩内町における地域公共交通の活性化に向けた課題を次のとおり整理した。

(1) 町内を面的にネットワークする新たな公共交通網の形成

岩内町内における移動の足を確保するため、町内の主要施設（役場等の公共施設や病院、商業施設等）とバスターミナル、後背住宅地を面的にネットワークする新たな公共交通網の形成に向けて、現状の路線バスの運行ルートや地区別の人口ボリュームなどの地区特性も踏まえて検討が必要である。

(2) 公共交通利用促進・活性化に向けた情報発信の強化・充実

住民アンケート調査結果からも、町民のバスの利用はそれほど多くない。また、バスを利用するときの移動先は「町外」が多い。これは町内での移動に利用できる路線があまりないことにもよるが、前述の新たな公共交通網の形成検討とあわせて、町民へバス路線や料金、利用方法などをきめ細かに発信するなど、利用促進に向けた検討が必要である。

また、町内だけではなく、岩宇4町村、倶知安町など住民生活圏における利用促進を意識した情報発信も検討が必要である。

十勝バスにおける情報発信例：目的別時刻表



（３）地域が一体となった取り組みの展開

これからの高齢社会にあっては、移動を車に頼らざるを得ない状況は好ましくない。

住民アンケート調査結果をみると、現在車を運転している方は約6割であり、「運転する」と回答された方の今後の自動車の運転予定は「80歳未満」の合計で60%、「85歳未満」の合計では85%という結果となっている。

地域内での生活を支える移動手段として、公共交通が果たす役割は、今後ますます重要となってくる。

このため、バス路線の維持・確保、利便性の向上、新たな公共交通の導入にあたっては、行政や交通事業者だけではなく、町民の積極的な公共交通利用や商店街との連携など、地域が一体となって取り組むことが必要である。

（４）PDCAサイクルによる事業評価の導入

地域公共交通の活性化に向けては、今後さまざまな取り組みが考えられるが、この取り組みを継続的に実施していく（**Do**）とともに、その取り組みについて結果を評価し（**Check**）、問題点や改善すべき点があれば見直し（**Action**）、次の新たな取り組みの計画を検討する（**Plan**）、PDCAサイクルに基づく事業評価の導入により、公共交通活性化に向けた持続的な取り組みの推進が必要である。